

フォトライフ

四季

カメラのキタムラ フォト ネットワーク
〒222-0033 横浜市港北区新横浜2-4-1
☎ 045-476-0777
平成12年12月1日発行
季刊第35号
www.kitamura.co.jp



vol.35
WINTER

特集 写真家・芥川善行氏

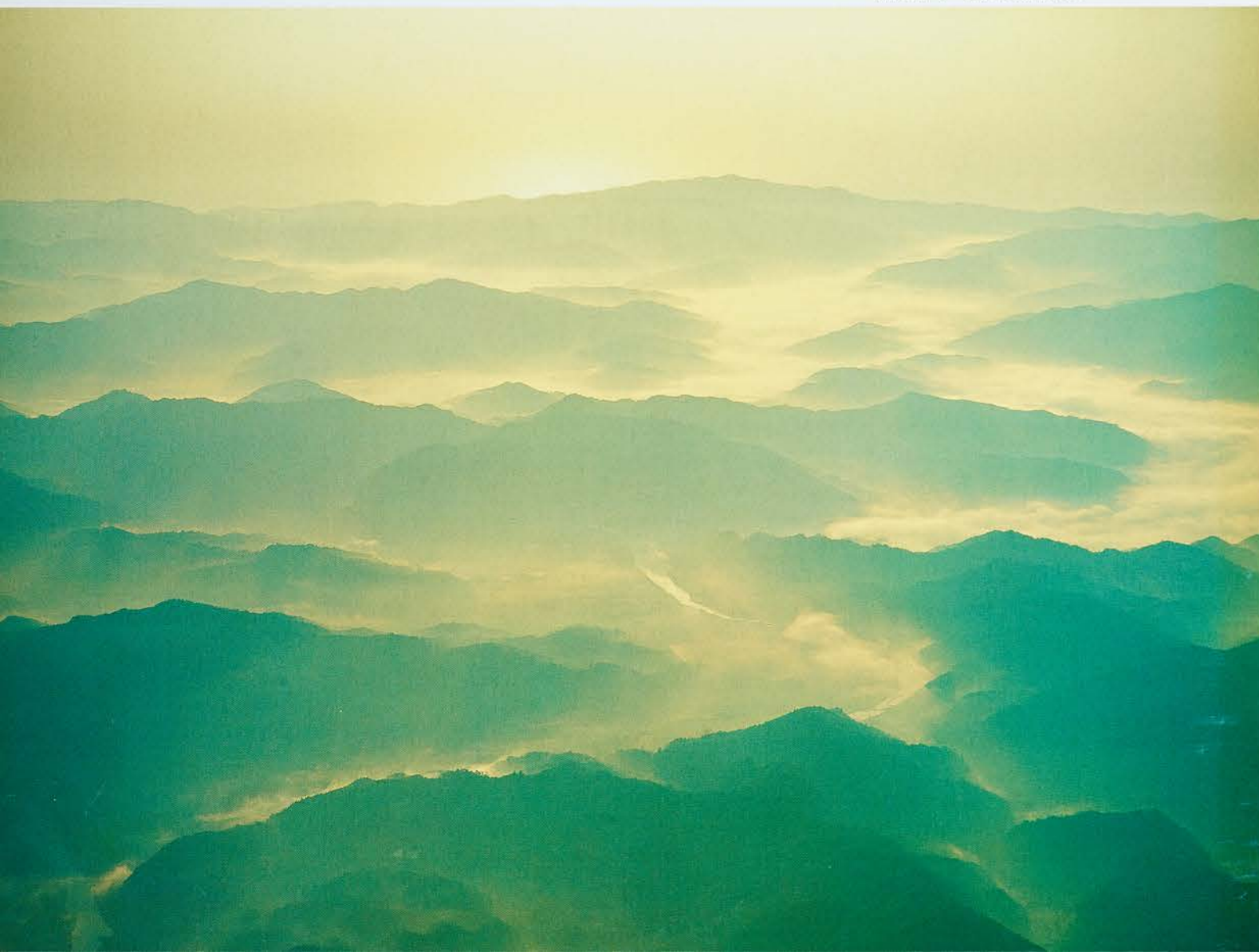
私は航空写真を通して
「人間」を撮り続けているのです。

新連載 田中長徳氏執筆「日本のカメラよもやま話」

保存版 露出を理解して写真の醍醐味を知ろう!

日本の清流にも選ばれている四国四万十川は、秋の大陸高気圧が張り出した頃の早朝、川筋が一面朝霧の海と化す。

■カメラ：エアロアクタス45 レンズ：EBCフジノン250mm F5.6 絞り：f8 シャッタースピード：1/250 フィルム：RVP(1絞増感現像) 撮影地：高知県窪川町 (撮影)芥川善行氏



フォトライフ

四季

CONTENTS
Vol. 35
WINTER



冬の北海道オホーツク海は、何と云っても流水を忘れることができない。2月頃に北風に誘われて網走地方に接岸し、別世界を展開して観光の目玉となる。
■カメラ：エアロアクタス45 レンズ：EBCフジノン250mm F5.6 絞り：f8 シャッタースピード：1/125 フィルム：RVP(1絞増感現像) 撮影地：北海道網走沖 (撮影) 芥川善行氏

特集 写真家・芥川善行氏

私は航空写真を通して「人間」を撮り続けているのです。..... 2

芥川善行先生航空写真ミニギャラリー 10

新連載 田中長徳氏執筆「日本のカメラよもやま話」 13

ペット・動物ふれあい写真コンテスト受賞作品誌上ミニ展覧会 16

第8回子ども&赤ちゃん すくすくフォトコンテスト入賞作品発表 18

保存版 写真の達人 最初の一步 露出を理解して写真の醍醐味を知ろう! 21

全国写真クラブ紹介 30

次ページ(P2・3)の写真解説
一番早く秋の知らせを受け取る地、北海道大雪山系は初冠雪とともに紅葉の競演が始まる。他の地域では見ることのできない鮮やかさだ。
■カメラ：エアロアクタス45 レンズ：EBCフジノン150mmF4.5 絞り：f8 シャッタースピード：1/250 フィルム：RVP(1絞増感現像) 撮影地：北海道大雪山黒岳 (撮影) 芥川善行氏

インターネットプリントサービス 26
キタムラ撮影ツアー紹介 29
キタムラ インフォメーション 32
プレゼントが当たる! クロスワードパズル 32
編集後記 32

MINOLTA



21世紀α、誕生。

撮影者が、それぞれのスタイルで心ゆくまで映像表現を楽しめるように、α-7は生まれました。道具としての使いやすさと最新のテクノロジーを高いレベルで両立。それは、世界最速オートフォーカス^{※1}をはじめとする新コンセプトのフォーカシングシステム等の数々の先進機能。使いやすいダイヤル&レバーによる明快なオペレーション。現在のカメラの状態が一目で把握できるナビゲーションディスプレイ。そして、レンズシステムまでを含めた軽量・コンパクトなボディ。先進性と操作性。機能性と機動性。すべてがバランスよく調和したその存在は、これまでの一眼レフとは明らかに違う。それが快適性能AF一眼、α-7です。21世紀に向けて、撮影者とカメラの新しい関係は、ここから始まります。



快適性能 AF 一眼。

α-7

希望小売価格(税別)
α-7・AFズーム24-105mm F3.5-4.5(D)付 ¥185,000
α-7ボディ ¥125,000
AFズーム24-105mm F3.5-4.5(D) ¥60,000

- 新コンセプトのフォーカシングシステムにより、すべてのαレンズ^{※2}で快適なフォーカシングコントロール。
- 多彩な機能が使いやすいダイヤル&レバー操作。
- 撮影情報を集中表示、快適操作をアシストするナビゲーションディスプレイ。
- 明るさと見やすさを実現した快適な高性能ファインダー。

※1: 150mmレンズ装着時(当社試験条件において)。2000年8月15日現在。 ※2: xiズームレンズ、STF135mm F2.8 [T4.5]を除く。

■α-7のカタログ請求先(住所・氏名・年齢・機種名記入)
〒108-8608 東京都港区高輪2-19-13 NS高輪ビル
ミノルタ株式会社 宣伝課 フォトライフ四季係
■ホームページアドレス <http://www.minolta.co.jp/japan/camera/>

0570-007111
市内通話料OK 市内通話料金でご利用いただけます

■フォトサポートセンター 営業時間 10:00~12:00 13:00~17:00 (土・日・祝日定休)
携帯電話・PHSをご利用の場合は、03-3356-9111をご利用ください。ファクス番号は、03-3356-6303です。
■お客様ご案内窓口(弊社製品に関する各種お問い合わせのご案内およびご意見ご要望などをお受けする窓口です。)
☎0120-162414 / ☎03-5423-7589 9:30~17:30 (土・日・祝日定休)



私は航空写真を通して「人間」を撮り続けているのです。

人間は「大空を鳥のように自由に飛ぶたい」という夢を昔から持ち続けてきました。飛行機が発明されたことで、この夢はある程度は実現されました。しかし、「鳥のように自由に」とまではいきません。狭い機内に押し込められて、小さな窓から少しだけ外を眺めているだけ。いったい自由に飛び回っている鳥たちには、私たち人間がどう見えているのでしょうか。今回ご紹介する芥川先生は、この「空から見た人間」というテーマの魅力にとりつかれて、航空写真に独自の世界を開拓されています。また先生は、大判カメラの開発・設計でも、お名前が世界的に知られています。そうした二つの顔を持つ先生に、一般ではなかなか体験することのできない空撮の実際と、またカメラ作りの楽しさについてお話をうかがいました。

※なお、表紙及び特集ページに掲載した写真は、すべて芥川先生の作品です。

特集 写真家 芥川善行氏



撮りたいのに売ってない。だから自分で作ったんです。

芥川先生は航空写真を撮るかたわら、大判カメラの設計でも高名でいらつしやいます。カメラの設計をされる写真家の先生というのは少ないように思いますが、先生はすでに高校生の頃からカメラを改造し、本格的に写真を撮っておられたとうかがいました。先生は最初、なぜカメラを改造しようと考えたのですか？

当時はカメラの改造というより、レンズを自作していたんです。

今は銀塩のカメラといえば、ほとんどが一眼レフですが、その当時は一眼レフがやっと市販されるようになった時代で、主流はまだレンジファインダーだったんです。レンジファインダーの場合は一眼レフとは違い、レンズを変えると、ファインダーから見える画像と実際に写した写真の画像が一致しなくなります。ですから交換レンズも市販されているもの

は少なかつたんです。

またレンジファインダーの場合、レンズから被写体の距離を示す距離計の範囲も135mmが限界でしたから、交換レンズも135mmまでで、たとえば200mmのレンズが欲しいと思っても、市販されていなかった。そうした写真は高価な一眼レフでなければ撮れなかつたのです。それでも、私は200mmや500mmのレンズで撮りたかつた。そこで昔の暗箱カメラのレンズを利用して自作しました。

その自作したレンズを使って撮った写真で、カメラ雑誌の月例コンテストに応募していました。他の応募者は通常のレンズで撮っていますから、自作レンズを使用している私の写真は目立っていたのでしようね。随分、賞金で荒稼ぎさせていたできました。当時のサラリーマンの給料よりもずっとたくさん稼いでいましたよ。そのうちに、あるカメラ雑誌に「もうやめてくれ」と言われたので、やめましたけど(笑)。

※レンジファインダーカメラは距離計連動式カメラ。カメラ前面の二つの窓から見える画像をファインダーの内部で結合させピントを合わせる方式のカメラ。これに対し、現在の主流である一眼レフカメラは、レンズを通してファインダーから見た画像が、そのままフィルムに焼き付けられるカメラ。レンズが一つでありこのレンズをファインダーとフィルムが共用するため、見えたおりの画像がフィルムに記録されます。

はじめて飛行機に乗ったときに見た地上の風景が全然違うものに見えたんです。

その当時はまだ航空写真ではな

つたわけですが、先生はいつ頃から航空写真に興味を持たれて、専門に撮るようになったのですか？

航空写真を撮るようになった直接のきっかけは仕事ですが、興味を持つようになったのは、もっと前、最初に飛行機に乗ったときです。

私はもともと

と子供の頃から機械が好きでしたから、機関車や飛行機も大好きなやつたんです。しかし当時は、飛行機に乗れるチャンスなんてめったになかった。はじめて乗ったのは19歳の頃だったと思います。

当時、私は台風が起す荒波や強風を撮りたくて、台風の通り道である与論島に撮影に出かけたんです。今なら鹿児島から半日もあれば行くことが出来るのですが、当時はまだ与論島が日本に返還されて間もない頃だったので、船でも直行便はなく、貨物船や貨客船を乗り継いで島づたいに、途中の島々に立ち寄りながら、ようやく与論島にたどりつきました。結局鹿児島を出発してから戻ってくるまでに



温州みかんの産地、愛媛の佐多岬半島の付け根、伊予町のみかんハウス。現在はビニールハウスも登場している。年間を通して金属的な輝きを見せ、気を引かれる地点だ。

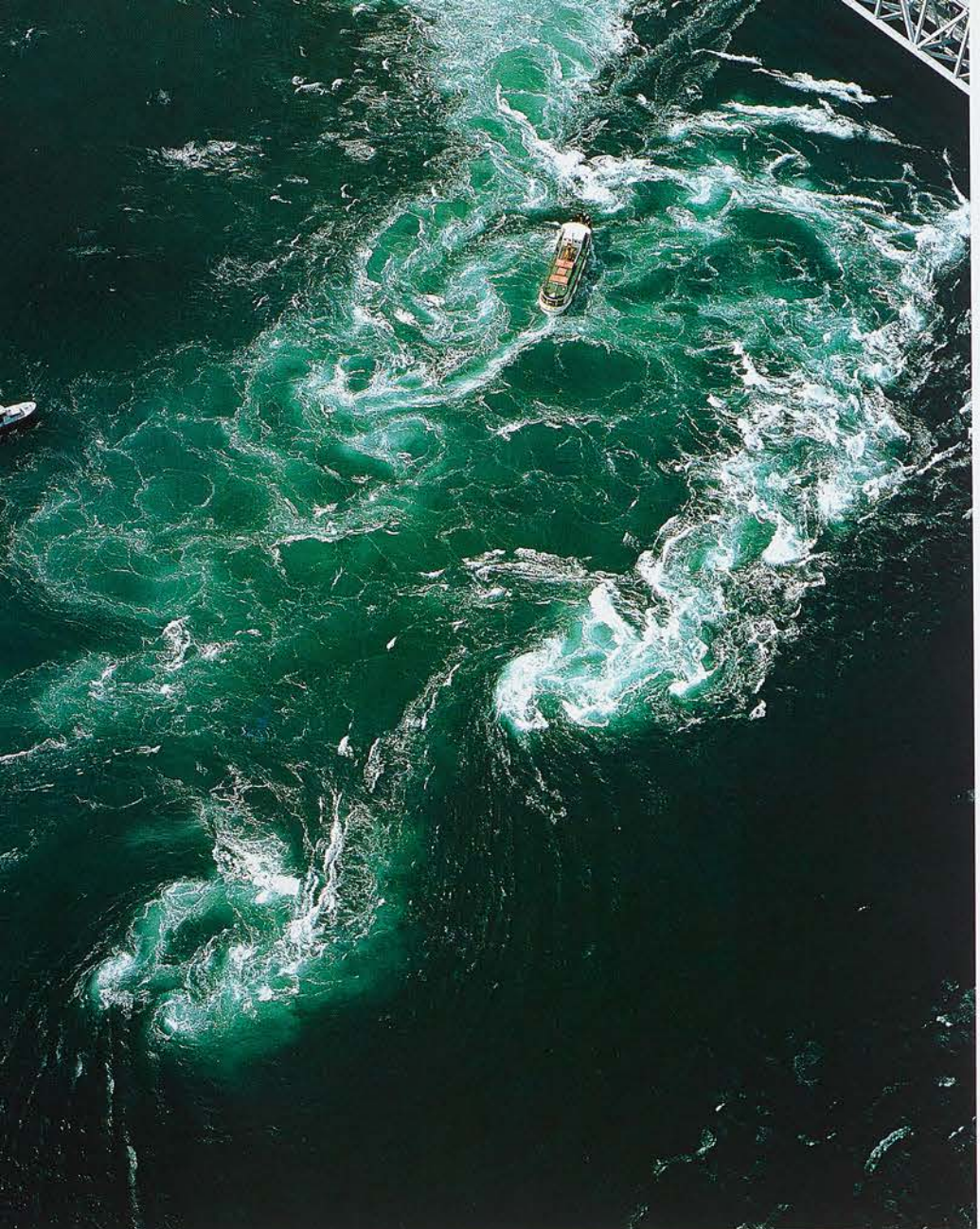
■カメラ：エアロアクタス45 レンズ：EBCフジノン250mm F4.5 絞り：f8 シャッタースピード：1/500フィルム：RVP(1枚増感現像) 撮影地：愛媛県伊方町

1ヶ月もかかってしまったんです。

その帰途に初めて飛行機に乗りました。当時は現在のJASの前身である東亜航空が、鹿児島と奄美大島の間を飛んでいたのですが、飛行機といっても8人乗りの小さなものでしたので、今の大型の飛行機とは違い低空を飛ぶんです。ですから下の景色がすぐくリアルに見える。島々の様子とか海を行く船とかがはっきり見えるんです。それが地上に立って眺めていた世界とは全然違って見えました。その印象がすごく強かつたですね。今から思うと、そのときの体験が航空写真に興味を持った最初だったように思います。

鳴門の渦潮は、春と秋の大潮の時期に日本の最高潮流の10ノットに達し、渦の直径は30mにもなる。観潮船も舷を傾けることが多々ある。

■カメラ：エアロアクタス45 レンズ：EBCフジノン150mm F4.5 絞り：f8 シャッタースピード：1/250フィルム：RVP(1枚増感現像) 撮影地：徳島県鳴門市



自然の法則を考え、詳しいデータを集めれば、空撮でも確実性の高い予測ができる。

日本の名所の一つ、天の橋立。砂地と青松がノコギリ刃状に繋がり、何とも不思議な景観である。砂地を強調するために積雪を待ち、予定通りの仕上がりになった。
 ■カメラ：エアロアクタス45 レンズ：EBCフジノン250mmF5.6 絞り：f8 シャッタースピード：1/250 フィルム：RVP(1枚増感現像) 撮影地：京都府天の橋立

それから2年ほど後のことなのですが、当時、私は電力会社の依頼でコマースャル写真を撮っていました。電力会社というのはダムのような広大な被写体が多い。そうした被写体を撮るために、空撮を初めて行ったのです。その後、仕事で何度も飛んでいるうちに、仕事の間に自分の撮りたい航空写真も撮るようになりました。やがて私が航空写真を撮ることを知った企業、たとえば船舶会社などから空撮の仕事の依頼が入ってきたんです。

その後も仕事で航空写真を撮る機会がどんどん増えていきました。それまでは通常のコマースャル写真と航空写真とを平行して撮っていたのですが、結局、ほとんどの仕事が空撮になってしまいましたね。専門に撮るようになったのは30年ほど前からです。
データの検討には1週間くらいかかります。自然を予測するためには時間がかかるのです。



普通、撮影という地上での撮影が主ですが、それでもなかなかイメージ通りの撮影ができずにチャンスを逃すことは少なくありません。空撮の場合は飛行機をチャーターしますから、一回の撮影に莫大な費用がかかります。飛んでみて自分の予想していたイ

火山国、日本列島の中で活動している火山の一つ阿蘇山。爆発している火口の噴煙は数千メートルまで到達し、自然の力の偉大さを見せつけられた。
 ■カメラ：エアロアクタス45 レンズ：EBCフジノン150mmF4.5 絞り：f5.6 シャッタースピード：1/250 フィルム：RVP(1枚増感現像) 撮影地：熊本県阿蘇山



メージと違っていたり、天候が悪くていい作品が撮れなかったりすると大変なのではないですか？

地図や気象データを十分に検討したうえで飛んでいますから、そうした失敗はありません。

国土地理院の発行している地図には等高線と植生が書かれていますから、それらを検討していると、だんだん地図が立体的に見えてくるんです。太陽光線の角度は気象協会のデータを使います。そのデータですと、撮りたいポイントの太陽光線の角度の詳細がわかります。何月何日には東のどの角度から太陽が出始めて、南中には何度の角度で太陽光線がくるのか、それが全部わかる。

天候の予測に関しては気象庁よりも私の方が確率がいいかもしれません(笑)。気象庁の予測は最大公約数ですが私はピ

ンポイントで、はっきりとした目的を持って調べていますから。日本は北半球です。ですから今から何時後かに撮影したい場所の天候を調べる場合、その西側の天候を調べればいいわけです。ただ、私たちが普段テレビで見ている気象情報は地上気象で、高度の高い場所の気象、上層気象ではありませんからデータにはなりません。私が利用しているのは各空港にある気象台の出張所のデータです。ここにはポイントごとの詳細な気象データがあるんです。

空撮といっても結局は自然を撮っていますから、自然の法則に照らしてゆけば確実性の高い予想を立てることが可能です。もっとも、これらのデータを検討するのに1週間ほどかかってしまいます。自然を予想するというのは、それほど時間のかかるものなのです。

飛行機の揺れと酸素不足の中で、確実に写真を撮る。私の改造はそれが目的なんです。

高度が高くなると気温はどんどん下がっていくので、冬の空撮ではカメラの操作が難しくなると思います。先生は空撮のためにカメラを改造されているとうかがっていますが、その工夫はやはり防寒に重点が置かれているのでしょうか？

いいえ、防寒のためよりも風圧や揺れ、酸素不足による操作ミス対策に重点を置いています。

空撮の場合、仕事はボスターなどの大判使用の依頼が多いので、私は全部大判のフィルムで撮っています。水面の波紋なども空から見ると光の点になってしまい、35mmではフィルムの粒状性の問題で出づらいですから。大判ならこれをきれいに写し取ることができます。最初は4x5のジャバラのあるカメラを使っていました。飛行機の中では窓を取り外して撮影するので風圧がすごいんです。このため、ジャバラが風圧でゆれてしまつて困りました。それでジャバラのものはやめたんです。

また、上空4000m以上になってくると酸素も地上の半分ほどになってしまふ。そうすると酸素不足で思考力も落ちてきますから、カメラには地上で使用する以上の操作性の良さや確実性が要求されてきます。

そこで私はカメラのノブを大きくし、

数字も大きく見やすいものに改造しています。同時に操作部分にはロックがかかりますようにしてあります。飛行機は揺れが激しいですから、ストッパーがないと撮影している間にわずかずつ、ずれていってしまうんです。距離のリングなども私のは300m、400m、500mと全部ピンが入っていてロックできるようにしています。

またカメラの重心のバランスにも気を使っています。大型カメラは重量が4、5kgほどありますし、機内は狭いので、三脚は使用できません。ですからカメラの全重量を手で支えているわけで、このような撮影状況では、たとえばレンズ側の部分が重ければ手に相当な力を入れて持っていないと操作ができません。カメラを操作するときは片手で持たなければなりません。よけいに力がいらぬように、手に力が入るとカメラは操作性が悪くなる。そこで私はカメラを持つ握りの後ろにひ

つかかりをつけて、手から落ちないようにしています。

先生は今まで日本を上空から撮影し続けてきたわけですが、印象に残るエピソードなどがありましたら教えてください。

それぞれの場所にはそれぞれの良さがありますから、撮影した場所という点では特に印象に残っているところは少ないですが、危険に合ったことはよく覚えていますよ。たとえばセスナが海面に尻をつけてしまつたり、飛行機の中で火を噴いたり、ガス欠になつたりね(笑)。緊急

着陸の一手手前までいったことは何度もありました。そういうときには今までやってきたことが色々と思ひ出されるんです。ああすればよかったとか、こうしておけばよかったとか、「走馬燈のように」という奴です(笑)。

先生はそうした危険をおかしても、それでも航空写真を撮り続けておられます。先生にとって航空写真とは、どのよ

まだ雪深い3月、北国で春の目覚めを促す作業である、融雪剤を畑に撒くスノーモービルの走った後に、無意識に作られた自然の造形を感じた。
 ■カメラ：エアロアクタス45 レンズ：EBCフジノン250mmF5.6 絞り：f8 シャッタースピード：1/250 フィルム：RVP(1枚増感現像) 撮影地：北海道女満別町



人間の生活感が入らない航空写真では、人を感動させることはできない。

うなものとお考えになつていてるのでしょうか？

空撮というと普通の方は単に広い地上の風景を撮ることを想像されると思うのですが、私にはその意識はありません。航空写真を撮り始めた最初から人間の生活を空から撮りたいと思つていたのです。自然の中にも人間の生活、息づかいがあるわけで、そうした人間の生活感が入らない航空写真では人を感動させることができません。たんなる測量写真になつてしまいます。私は空から見た人々の息づかいが撮りたいのです。私の写真集のタイトルは「1000 feet」というのですが、この1000フィートというのは高度300mのことで、航空法で定められた市街地での最低高度です。同時に家とか車とか人とか、そうした人の息づかいを撮ることができるとギリギリの高度なのです。このタイトルは私の「空から人間の生活を撮っているのだ」という思いを託したもので、私の航空写真をあらわしたもののなのです。

直接ユーザーに会つて生の声を聞くと、思いもかけない要望が返ってくることもある。設計はそれが楽しいのです。

一方で先生はカメラの設計もなさ

っています。率直なご意見をおうかがいしたいのですが、先生は撮影と設計と、どちらがお好きなのですか？

どちらかという写真を撮っているときよりも、カメラを作っているときの方が好きですね。

写真というのはある意味では相手が求めるものではなく、自分の思うこと、感じる行為だと思つています。ですから作品を製作している途中では、まったく個人的な、孤独な仕事なんです。しかし、カメラの開発というのは相手の求めることに応えなければなりません。また、その要望にしても思いもよらないものがあつたりする。たとえば欧米人の中には、日本人とは体格が違いますから、カメラのマウントをねじ切つてしまつたり、レバーを折つてしまつたり人がいるんです。そんなものが、そう簡単に壊れるとは普通は思いませんよ。でも実際に外国では起きるのです。そうするとすごく頑丈なカメラが求められてくる。そうしたユーザーの実際の要望というのは、実際にユーザーと接してみないとわかりません。



世界最大のカメラ及び撮影機材のイベントである「フォトキナ」は、2年に一度、ドイツのケルンで開催される。幕張メッセの数倍規模というケルン・メッセ（見本市）を舞台に、世界各国から1,000社以上のメーカーが一同に集う。芥川先生はこの「フォトキナ」で毎年新作を発表しておられ、今年はHORSEMAN社のブースの一角にコーナーが設けられた。今回出品されたのは「AERO-AKTAS 45」。

先生が今年の「フォトキナ」で発表された「AERO-AKTAS 45」。



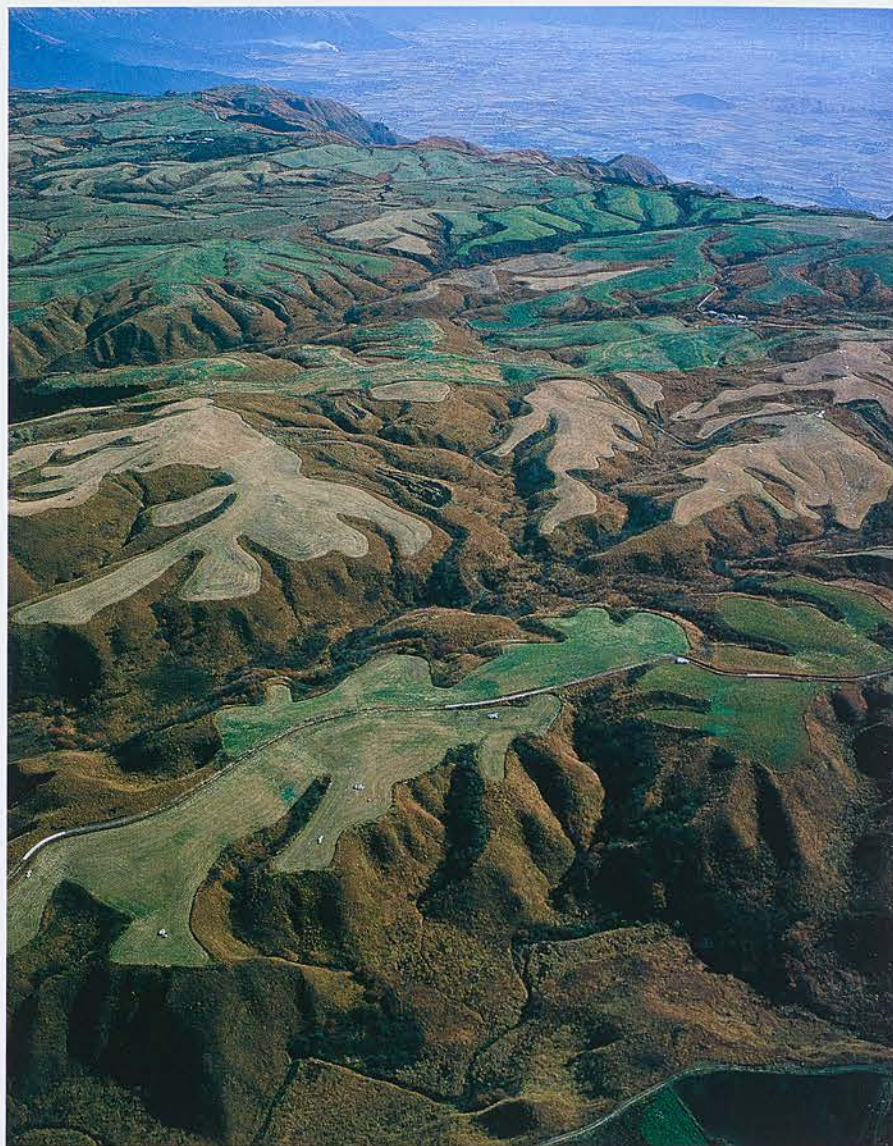
HORSEMAN社のブースの一角に、芥川先生が出品された「AERO-AKTAS 45」のコーナーが設けられた。



上：「フォトキナ」が開催されるドイツのケルン。



左：今年の「フォトキナ」の会場入り口。



阿蘇外輪山の東方には放牧場や畑の雄大なパノラマが見うけられる。四季を通じて作物の数々の色合いが心をなごませる。
■カメラ：エアロアクタス45 レンズ：EBCフジノン 150mmF4.5 絞り：f8 シャッタースピード：1/250 フィルム：RVP（1絞増感現像）撮影地：熊本県南小国町

ですから設計の仕事をしていると、人と接する機会が多くなります。私は人と接している方が好きなんです。

設計に関しては、私はずっと大判のカメラを作ってきましたし、これからも大判カメラを作り続けていきたいと思つています。いくら時代が大判以外のカメラを出してきたとしても、私のカメラはそれとは比較できないものなんです。それがメーカーの販売商品に結びつくかどうかはわかりませんが、それでも今後も大判カメラを作り続けますよ。自分自身から。

最後に、先生の航空写真の撮影の方

の今後の予定を教えてくださいませんか？

単に変わった風景の場所というよりも、やはり今後も人の生活がわかる写真を撮り続けていきたいですね。今企画が進んでいるものでは中国を撮る計画があるんです。中国というとすぐに広大な大地を思い浮かべる人が多いようですが、実は人間とのかかわりが一番面白い国なんです。ですから低い位置から見た中国、空から見た中国人たちの生活を撮つてみたいと思つています。

楽しみにしています。本日はどうもありがとうございました。



芥川先生は海外のプレスにも知り合いが多い。イタリアの知人が編集している写真雑誌「FOTO graphia」では芥川先生と、その作品が紹介された。



芥川先生が開発に携わったフジフィルムのパノラマカメラのシリーズ。

多才な芥川先生は執筆も行う。ANAの機内でのみ入手できる「翼の王国」では、連載で先生の航空写真の作品と文章を見ることができる。



芥川善行先生 航空写真 ミニギャラリー

「空から人間の息づかいを撮っている」とおっしゃる芥川先生の作品は、いずれもその大判で写し取られた世界の迫りに圧倒されるものばかりです。誌面の大きさの関係上、その素晴らしさをなかなかお伝えすることができないのが残念でなりません。是非一度、先生の400×317mmという大判の写真集「1000feet」(セキ株式会社発行・定価20,000円<税別>)をお手にとってご覧ください。ここでは、先生の作品を数点掲出して、ミニギャラリーとさせていただきます。そのスケールの片鱗が、皆様に届けば幸いです。



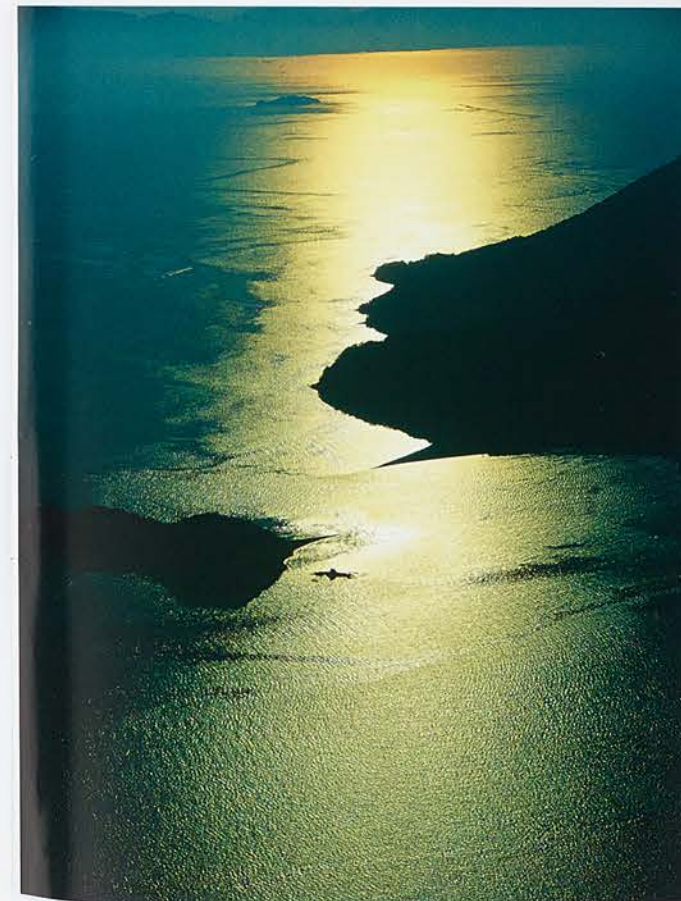
阿蘇の草千里は九州観光の中心地である。一般に見る機会の少ない上空から見ると、人の顔そのものを想わせる。季節により色々と人相も変わるものだ。

■カメラ：エアロアクタス45 レンズ：EBCフジノン150mmF4.5 絞り：f8 シャッタースピード：1/500 フィルム：RVP(1絞増感現像) 撮影地：熊本県阿蘇草千里



誰もが日本の象徴として疑うことのない富士山だ。冬の斜光線の中、浮き上がった様相は自然の力強さを感じさせた。

■カメラ：エアロアクタス45 レンズ：EBCフジノン150mmF4.5 絞り：f5.6 シャッタースピード：1/125 フィルム：RVP(1絞増感現像) 撮影地：山梨県富士山



瀬戸内海は多島とともに、大河の如く流れる海水、太陽光線による金波銀波の無数の色彩など、気持ちを揺さぶる魅力を持っている。

■カメラ：エアロアクタス45 レンズ：EBCフジノン250mmF5.6 絞り：f11 シャッタースピード：1/500 フィルム：RVP(1絞増感現像) 撮影地：山口県と愛媛県の県境、瀬戸内海

沖縄にはサンゴ礁のある島々が多く、周辺の海岸では小さな漁船が行き交う光景を多々目にする。この船は沖縄伝統の漁船サバニである。

■カメラ：エアロアクタス45 レンズ：EBCフジノン150mmF4.5 絞り：f8 シャッタースピード：1/250 フィルム：RVP(1絞増感現像) 撮影地：沖縄県クエフ島付近

ちようとく
田中長徳氏執筆

日本のカメラ よもやま話

新連載

その巻

日本一眼レフの勃興
～オートフォーカスの夜明け前まで～



高度成長期の日本のお父さんの休日の家族連れには、かならず、このアサヒペンタックスがお父さんの肩からぶら下がっていたものであった。私の父も同様である。最初に私の出会った一眼レフカメラは父のペンタックスであった。M42マウントで各種のレンズが使用できるのが強みだ。これはアルパブランドのレンズと組んだ一例。

昨年2000年秋のフォトキナは、20

界常識である。その代表選手である。ライカやローライはドイツ、ハッセルはスウェーデンで、35ミリ一眼レフは日本というのは世

日本のカメラと言えは、35ミリ一眼レフ

がその代表選手である。ライカやローライはドイツ、ハッセルはスウェーデンで、35ミリ一眼レフは日本というのは世

時は2001年である。栄光の21世紀である。新しい時代の幕開けとともに、デジタルカメラあり、ライカありの、正に百花繚乱の映像の新时代の幕がききつて落とされた。21世紀の映像の可能性とその進化は、留まる所を知らない。



田中 長徳
たなか ちようとく/1947年東京生まれ、日大写真科卒。日本デザインセンター勤務の後、1973年からフリーランス写真家に。ウィーンに8年間、ニューヨークに1年間滞在。東京、ウィーン、ニューヨークなどで個展多数開催。著書写真集多数。最近クラシックカメラのエッセイの仕事も多い。日本写真家協会会員。

高度成長期の日本のお父さんの休日の家族連れには、かならず、このアサヒペンタックスがお父さんの肩からぶら下がっていたものであった。私の父も同様である。最初に私の出会った一眼レフカメラは父のペンタックスであった。M42マウントで各種のレンズが使用できるのが強みだ。これはアルパブランドのレンズと組んだ一例。

さて、その日本の一眼レフの歴史を講談風に以下の3000字弱で、果たしてその輪郭が正確にとらえられるかは、疑問ながら、超駆け足で1980年代半ばのオートフォーカス一眼レフに至るまでの、マニュアル一眼レフの歴史を振り返ってみよう。

1954年のフォトキナで発表されたライカM3は、当時の日本の写真機工業界に実

然にそういう組み合わせになったのであるが、旅の途中に、この2台のカメラを比較して見ると、そこには、戦後の世界のカメラの縮図が浮かびあがってくることに気がついた。

ライカM3はこれはあまりにも有名な、レンジファインダーの最高傑作機である。



写真力。

いい写真への憧れを、このカメラならかなえてくれる。

インターネットホームページアドレス <http://www.nikon.co.jp/photo/> ■@nifty (アット・ニフティ) で「ニコン・ステーション」を開設しています。「GO SNIKON」でお気軽にアクセスしてください。
■カタログをご用意しています。機種名・誌名をご明記の上、100-8693東京中央郵便局私書箱1269号 株式会社ニコン お客様相談室 宛ご請求ください。
株式会社ニコン 本社 100-8331 東京都千代田区丸の内3-2-3 (富士ビル) ■製品に関するお問い合わせは「お客様相談室」まで。電話 (03) 3775-2266 FAX (03) 3775-7201

クリエイティブマインド



新開発の「5点測距オートフォーカス」、視認性に優れた世界初「バリエイト・フォーカスエリア」、構図決定に便利な格子線が表示できる世界初「マルチディスプレイ・スクリーン」を採用。そして「3D-マルチBL調光」も可能なスピードライトを内蔵した、AF一眼レフカメラ、F80SはF80の機能に、「コマ間データ写し込み機構」をプラス。

Nikon F80D

希望小売価格[税別]:
●ボディ本体(ストラップ・接眼目当てDK-10付)..... ¥88,000
●AFズームニッコール28-80mm F3.5-5.6D(New)付 ¥113,000

Nikon F80s

希望小売価格[税別]:
●ボディ本体(ストラップ・接眼目当てDK-10付)..... ¥102,000
●AFズームニッコール28-80mm F3.5-5.6D(New)付 ¥127,000



CONTAX T vs II



(シルバー、ブラック)

メーカー希望小売価格 160,000円 (税別)
ケース、ストラップ付

- カールツァイス バリオ・ゾナーT*30-60mm F3.7-6.7 搭載
- スタイリッシュなデザインと自動開閉式フロントカバー
- 高精度マルチバッシュ方式オートフォーカス機構
- 最高速1/1000秒を実現するダブルピストン式レンズシャッター
- 作画重視の絞り優先オートと即写重視のプログラムオート露出機構
- 軽量・高強度・極めて優れた耐腐食性をもつチタンを外観素材に採用
- 明るく見やすいズーム連動式ファインダー機構と視度調整内蔵

お問い合わせ先
京セラ光学機器事業本部 ☎158-8610 東京都世田谷区玉川台2-14-9
☎03 (3708) 3114 (代表)
京セラホームページ <http://www.kyocera.co.jp/>
コンタックスホームページ「CONTAX STUDIO」
<http://www.kyocera.co.jp/frame/product/optical/studio/default.asp>

ライバルであるニコンF2に対抗する新機種というので、1970年登場のキヤノンF1を大幅に改良したのが、このニューF1である。(最近ではこのモデルをF1と呼んで、その前のモデルを旧F1と呼ぶことが多い)当時のキヤノンはレンズ群はニッコールの一步先を歩んでいたため、このF1でキヤノンはニコン党からかなりの「党離脱者」を獲得することができた。



ニコンFの勃興と期を一にして、ほぼ同時代に、以前からニコンの良きライバルであったキヤノンは、最高級一眼レフ、キヤノンフレックスを登場させ、さらに同型機で、2000分の1の、当時としては世界最高速を誇る、フォーカルプレーンシャッターを搭載したキヤノンフレックスR2000を、主に北米市場で売り出した。しかし、プロ用一眼レフの分野では、キヤノンはニコンの後塵を拝することになってしまふ。実際、キヤノンがニコンに追いつく為

に満を持して世に出したのは1970年のキヤノンF1からであり、ここに初めてニコンとキヤノンのそれぞれの最高級一眼レフが、その覇権をかけて、世界のプロ市場を槍舞台に、熱い終わりのない戦いを開始することになったのである。

さて、時代をもう一度、1960年代に戻そう。一眼レフは見たままに写すことができるという最大の長所を持っている。ゆえに、その露光決定システムもレンズを通過した光量を、そのままメーターで測光する方式が一番なわけである。いわゆるTTL方式はベストの測光方式ではあると分かっていたのだけど、ニコンFなどを愛用するプロ写真家達は、60年代初頭には、なかなかこの方式を認めようとしなかった。今では信じがたいけど、保守的な考えを持つ職業写真は、当時は露出の決定は、自分の表現に深く関わってくる表現の一部なのだから、それは自分の長年の経験で決定するのがベストであると信じていたのである。それゆえ、ニコンFでも、キヤノンフレックスでも当時の最高級一眼レフは、どれもメーターを内蔵していなかった。高級アマチュア層の要求に応じて、あくまでも露出計は、カメラの外部に取り付ける「外付け方式」が高級一眼レフの証であったのだ。



一方、TTL測光方式のバイオニアたる東京光学のトプコンREスーパー、そして旭光学のアサヒペンタックススポーツマチックなどが、1960年代中盤から登場するようになり、一眼レフの内部に電気回路を組み込まれることがだんだん市民権を得るようになった。特にトプコンREスーパーの場合は、科学写真などの難しい露出

に、そのような新しい技術革新が行われて、一眼レフの今日の使いやすい土台が、此処に打ち立てられたのである。ミランダは、欧米ではかなり有名な一眼レフであったけど、現在、その会社は残っていない。一方、ペンタックスの隆盛は、ご存じの通りである。そのペンタプリズム式35ミリ一眼レフ、アサヒペンタックスは一大ブームとなった。その理由は、各種交換レンズが自由に駆使できる点にある。まだモノクロ時代のテレビCMで「ペンタックス、ペンタックス：望遠だよ！ワイドだよ！」という懐かしい広告を覚えて

いる、団塊の世代の皆さんもいることであろう。1958年になって、日本光学からそれまでのカメラとは、全く異なるタイプの最高級一眼レフが登場した。ニコンFである。ライフレフを始めとする、アメリカの報道関係で、ニコンFが正式機種として採用されたのを皮切りに、日本国内でも、それまでは報道の機材は4x5の大型カメラ、スピードグラファイックスが標準機材であったのが、次第にニコンFが採用されるようになった。その理由は、ニコンFは実に頑丈なカメラであり、そのファインダー倍率が視野率100パーセントであったのも、その理由だが、その背景にはそれまでレンジファインダー機、ニコンSPなどですでにその優秀さが認められていた、ニッコール

の決定に、その力を發揮するようになったばかりか、その堅牢さが買われて、アメリカ海軍の正式カメラとして長年活躍した。一方で、アサヒペンタックススポーツマチックは、その商品名をアサヒペンタックスSPと変えて市販され、60年後半から70年初頭には競合機であったミノルタSRT101と並んで、大人気のアマチュア用一眼レフとして、カメラ雑誌の上位入賞者の撮影データはペンタックスとミノルタの一眼レフが、その人気を二分するという時代もあった。1970年代になって一眼レフは小型軽量化の道を進み始めた。その一番のきっかけはオリンパスM1である。後にライツ社(現ライカ社)から、同社が生産したライカM1とその名前が紛らわしいというのでクレームが付き、急遽、オリンパスOM1にブランド名を変えたのである。オリンパスM1は今やレオ物になって

いる。そのいきさつは、1964年にすでに製造中止のライカのM1は、その生産台数が9千台ほどであるから、どうも、ライツの横車と言えないこともない。それだけ、日本の一眼レフが1970年代には世界のカメラメーカーにとって「脅威」となってきた、これはその証でもある。ミノルタは1970年代半ばになって、一眼レフカメラの自動化を大幅に押し進めた。それまでのSRTシリーズとは根本的に異なる、進んだ電子制御のカメラ、ミノルタXEは、やや大柄なボディながら、精密な露光システムと非常に静粛なシャッターで知られるところとなり、当時、ミノルタと技術提携関係にあった、ライツ社はミノルタXEをベースにした、ライカR3を、さらに5年後の1980年にはミノルタXEの後継機で、さらに小型化されたボディのシャッター優先と絞り優先の両モードを搭載したミノルタXDをベースにした、ライカR4を発表した。このように、日本の進化した技術が、海外の有名メーカーの人氣一眼レフの基本の土台として、利用されるようになった。1950年代半ばにライカ

の距離計タイプのカメラの模倣から決別して一眼レフの道を歩み始めた日本のカメラ工業界は、不滅の努力によって、ついに世界最高の一眼レフ王国を築き上げたのである。さて、そうなる、万能の日本一眼レフの次のステップは、カメラの究極の進化形、つまりオートフォーカス化ということになるのだけど、今回はここまでで読み切りとさせていただきます。

に、そのような新しい技術革新が行われて、一眼レフの今日の使いやすい土台が、此処に打ち立てられたのである。ミランダは、欧米ではかなり有名な一眼レフであったけど、現在、その会社は残っていない。一方、ペンタックスの隆盛は、ご存じの通りである。そのペンタプリズム式35ミリ一眼レフ、アサヒペンタックスは一大ブームとなった。その理由は、各種交換レンズが自由に駆使できる点にある。まだモノクロ時代のテレビCMで「ペンタックス、ペンタックス：望遠だよ！ワイドだよ！」という懐かしい広告を覚えて

いる、団塊の世代の皆さんもいることであろう。1958年になって、日本光学からそれまでのカメラとは、全く異なるタイプの最高級一眼レフが登場した。ニコンFである。ライフレフを始めとする、アメリカの報道関係で、ニコンFが正式機種として採用されたのを皮切りに、日本国内でも、それまでは報道の機材は4x5の大型カメラ、スピードグラファイックスが標準機材であったのが、次第にニコンFが採用されるようになった。その理由は、ニコンFは実に頑丈なカメラであり、そのファインダー倍率が視野率100パーセントであったのも、その理由だが、その背景にはそれまでレンジファインダー機、ニコンSPなどですでにその優秀さが認められていた、ニッコール

のエキザクタの紹介記事には「値段は聞かぬが花」と書かれていたそうである。そういう一眼レフの畑に種を蒔いて、今日の一眼レフの大森林を育成した、日本のカメラ工業の成果は実に大したものである。ところで35ミリ一眼レフが、その進化の過程で使いにくかったのには二つの理由があった。それは、ファインダー画像が左右逆に見える、上から覗く方式のファインダーと、撮影した後にミラーが上がりっぱなしになる、ブラックアウトするミラーのせいであった。これを解決する為、ペンタプリズムファインダーを最初に国産機で装備したのはオリオン光機のミランダTで、これでファインダーの問題はともかく解決された。さらに、ミラーをインスタントリターン方式にして、撮影後もそのままの画像が観察できるようにしたのは、ペンタックスの前身のアサヒフレックスからである。(ただし、ファインダーはまだ上から覗く方式であった。)いずれも1950年代半



銘機ニコンFに戦交えようとして、1960年代初頭に登場したキヤノンフレックスR2000である。これは世界最初の2000分の一秒のシャッターを装備していた。主にアメリカに輸出されたようである。この当時のスーパーキヤノマチックの交換レンズシステムは、上品な描写をする。35ミリから200ミリまで揃えて、仕事カメラとして活躍中。

バに、そのような新しい技術革新が行われて、一眼レフの今日の使いやすい土台が、此処に打ち立てられたのである。ミランダは、欧米ではかなり有名な一眼レフであったけど、現在、その会社は残っていない。一方、ペンタックスの隆盛は、ご存じの通りである。そのペンタプリズム式35ミリ一眼レフ、アサヒペンタックスは一大ブームとなった。その理由は、各種交換レンズが自由に駆使できる点にある。まだモノクロ時代のテレビCMで「ペンタックス、ペンタックス：望遠だよ！ワイドだよ！」という懐かしい広告を覚えて

いる、団塊の世代の皆さんもいることであろう。1958年になって、日本光学からそれまでのカメラとは、全く異なるタイプの最高級一眼レフが登場した。ニコンFである。ライフレフを始めとする、アメリカの報道関係で、ニコンFが正式機種として採用されたのを皮切りに、日本国内でも、それまでは報道の機材は4x5の大型カメラ、スピードグラファイックスが標準機材であったのが、次第にニコンFが採用されるようになった。その理由は、ニコンFは実に頑丈なカメラであり、そのファインダー倍率が視野率100パーセントであったのも、その理由だが、その背景にはそれまでレンジファインダー機、ニコンSPなどですでにその優秀さが認められていた、ニッコール

レンズ群が、そのままニコンF用にアダプターで転用できたこと、さらに、ニコンFの発売と同時に自動絞り機構と、メーター連動機構を完備したオートニッコールレンズ群が28ミリから200ミリまで一度に発売されたことにもよる。ニコンFは最初からプロ志向のカメラであり、1960年代



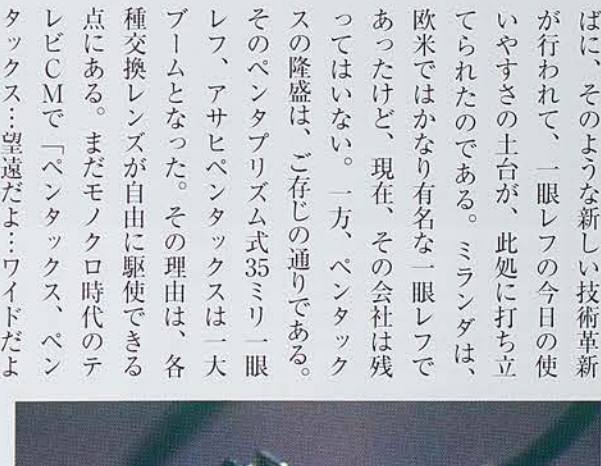
ニコンFは10数年の現役時代を持つ銘機だったが、その後継機ニコンF2では初めて、モータードライブを無調整で取り付けられるようになり、内蔵メーターも進歩して、プロ写真家の信頼感が増した。私は、30年前にそのニコンF2のカタログの撮影に立ち会った、古参のニコンファンであるが、このブラックのニコンF2は、いまだにどこも悪い箇所のない働き者だ。

配偶者からの誕生日プレゼントは、スワロフスキー製の一眼レフのミニチュア。本体は、幅2センチほどだけど、こういうモノを、マクロで撮影できるのも一眼レフの有り難さ。1971年製の古い一眼レフに2000年製の新鋭レンズの組み合わせは、時代を超えた道具となりえる。■カメラ：ニコンF2 レンズ：マクロアポロ125mm F2.5 絞り：F8 シャッタースピード：1/125秒 フィルム：コニカクローム新羅

に、そのような新しい技術革新が行われて、一眼レフの今日の使いやすい土台が、此処に打ち立てられたのである。ミランダは、欧米ではかなり有名な一眼レフであったけど、現在、その会社は残っていない。一方、ペンタックスの隆盛は、ご存じの通りである。そのペンタプリズム式35ミリ一眼レフ、アサヒペンタックスは一大ブームとなった。その理由は、各種交換レンズが自由に駆使できる点にある。まだモノクロ時代のテレビCMで「ペンタックス、ペンタックス：望遠だよ！ワイドだよ！」という懐かしい広告を覚えて



に、そのような新しい技術革新が行われて、一眼レフの今日の使いやすい土台が、此処に打ち立てられたのである。ミランダは、欧米ではかなり有名な一眼レフであったけど、現在、その会社は残っていない。一方、ペンタックスの隆盛は、ご存じの通りである。そのペンタプリズム式35ミリ一眼レフ、アサヒペンタックスは一大ブームとなった。その理由は、各種交換レンズが自由に駆使できる点にある。まだモノクロ時代のテレビCMで「ペンタックス、ペンタックス：望遠だよ！ワイドだよ！」という懐かしい広告を覚えて



に、そのような新しい技術革新が行われて、一眼レフの今日の使いやすい土台が、此処に打ち立てられたのである。ミランダは、欧米ではかなり有名な一眼レフであったけど、現在、その会社は残っていない。一方、ペンタックスの隆盛は、ご存じの通りである。そのペンタプリズム式35ミリ一眼レフ、アサヒペンタックスは一大ブームとなった。その理由は、各種交換レンズが自由に駆使できる点にある。まだモノクロ時代のテレビCMで「ペンタックス、ペンタックス：望遠だよ！ワイドだよ！」という懐かしい広告を覚えて

ここに紹介する一眼レフは、私が日々の仕事に使用している「現役機」である。ミランダSは、1950年代半ばのカメラであるが、シンプルで機能的なため、一向に古くならない。各種マウントアダプターを付けて、使用中。これはエキザクタアダプターでドイツ製のマクロ撮影可能な35ミリ広角レンズが付いている例だ。

カメラのキタムラ

第6回 ペット動物 ふれあい写真コンテスト 作品募集

楽しい、かわいい、傑作ショット大募集!

賞金・賞品総額 150万円

募集テーマは、ペット写真・動物写真及び動物と人のふれあい写真

グランプリ	賞金10万円と橋	1名
最優秀賞	賞金5万円と橋	5名
優秀賞	賞金3万円と橋	10名
佳作	賞金1万円と橋	25名
入選	記念品(2千円)と橋	300名

募集期間

平成12年12月15日(金) ~ 平成13年2月28日(水)

カメラのキタムラ店頭または事務局必着

※詳しくは、12月中旬よりカメラのキタムラ店頭にて設置されるポスター、または応募用紙をご覧ください。

※入賞された作品は、フォトコンテスト専門マガジン「フォトライフ」に掲載させていただきます。



優秀賞受賞「どこ行くの〜!!」樋口タマエ様(香川県)

あらあら、ダメだよってきちゃあ、みんな写真撮っているんだから。こゆうことよくありますよね。



優秀賞受賞「タロボウ君 仏様に叱られるよー」広瀬毅彦様(兵庫県)

猫ちゃんて、狭いところが大好きなんです。キョトンとした表情がとてもかわいい。



優秀賞受賞「はじめまして!」忽那博史様(愛媛県)

本当にワンちゃんが肩に手を当てて「はじめまして!」と見えています。お子さんの照れくさそうな笑顔がとてもかわいいです。



優秀賞受賞「ツバメ」中島康喜様(愛知県)

おかあさんツバメかな? こんなところで餌をあげている。巣から出て大きくなっているのに、甘い声の子供達ですね。



佳作受賞「え!? なあに。」中井寿雄様(高知県)

ワンちゃんとお子さんが一緒に振り向いてる! 素敵なシャッターチャンスですね。



佳作受賞「ねんねんよ〜!」中島和幸様(福岡県)

おかあさんの羽根につつまれてあたたかそ〜。本当にオンブレしているように見えますね。顔だけ出している赤ちゃんがとてもかわいい!



最優秀賞受賞「雨の散歩道」炭谷健一様(熊本県)

見事にかかったきれいな虹! これだけでもラッキーなシャッターチャンスなのに、構図も二人の傘もすごくきれいです。



最優秀賞受賞「好奇心」五味 守様(宮崎県)

こうした広い場所では心をゆるした相手じゃないと、ウサギはなかなかさわらせてくれないんですね。きっと心がとてもやさしい女の子なのでしょう。



グランプリ受賞「暑い日」小川 正様(滋賀県)

濡れたタックスフンド、かわいー! カメラの目線がちゃんとワンちゃんの位置にのびているのが、さすがですね。

カメラのキタムラ ペット動物 ふれあい写真コンテスト 受賞作品誌上展覧会

寒い季節がやってきました。そしてこの季節はカメラのキタムラの主催する「ペット・動物ふれあい写真コンテスト」の心温まる季節でもあります。かげがえのない家族であるペットはもちろん、通りですれ違う犬、暖かな日向でうたたねしている猫、窓辺でさえずる小鳥と、よく見回してみると私たちの身のまわりには、私達と同じようにたくさん動物たちが暮らしています。そして動物たちは、なんらかの形で私達とふれあいながら生きています。そのふれあいのこまを是非写真にして送ってください。今年もまた、キタムラの社員一同、動物たちに向けられた皆さんのやさしいまなざしの作品をたくさん応募いただけるように、心より願っております。

ここに掲載した作品は、いずれも前回、上位入賞された作品です。様々な人間と動物のふれあいをファイナラーでとらえた力作ばかり。今回応募される皆さんの作品づくりの参考になればと、もう一度ご登場いただきました。コメントはキタムラの社員がつけましたものです。もちろん、ご応募される作品は人間と動物のふれあいをとらえたものでもかまいません。どんなに応募ください。動物は物言わぬ名優たち。つづらな瞳が、かわいい耳が、小さな尻尾が、何かを語りかけています。その何かを見つけたら、写真にして私達にも教えてください。皆さんのご応募を心からお待ちしております。

※写真のコメントはキタムラの社員によるものです。



最優秀賞受賞「仔馬のおまんと」樽松貞美様(愛知県)

鼻息まで聞こえてきそうな元気いっぱいの仔馬です。こんな動物とのふれあいもあるんですね。



最優秀賞受賞「ともだち」田路俊人様(熊本県)

猫ちゃんが見ている方向と、お子さんが見ている方向が同じなんです。仲がいいんだな〜。



最優秀賞受賞「早春散歩」中庭妙子様(埼玉県)

おばあちゃんワンちゃん、心が通い合っているのですね。写真を撮っているときまで暖かく感じる素晴らしい作品です。

RICOH 高次元の描写力。



GR1sの主な特長 ●GR LENS 28mm F2.8は、非球面レンズ採用、4群7枚オールガラスのマルチコーティングで優れた描写力 ●暗い状況下での撮影にとても便利な光る情報パネル ●逆光時の撮影に重宝する本格的な花型フードを装備 ●ナチュラルな画像を生むディストーション性能の良さ ●ニュートラルな発色のCCD分光透過率 ●高精度7ゾーンハッシュ方式マルチオートフォーカス ●美しいボケ味のために考慮された7枚構成のレンズ絞り羽根 ●シンプルで明るいブライトフレームファインダー ●絞り優先AE ●露出補正ダイヤル ●主な撮影モード: フラッシュ強制発光モード(日中シンクロ/スローシンクロ可) ●フラッシュ発光禁止モード ●オートフラッシュモード ●遠景モード ●シングルAF(LV6以上中央重点測光)モード ●スナップモード ●フォーカス固定モード ●赤目軽減モード ●セルフタイマーモード ●タイムモード等

GR1s (ボディカラー:ブラック/シルバー) ●メーカー希望小売価格(フード・革ケース込) GR1s ¥95,000(税別) GR1s DATE ¥105,000(税別)

0120-007962 ●受付時間 月曜から金曜/9:30~17:00 ●土曜・日曜・祝日はお休みさせていただきます。

佳作 (30名) 賞金1万円と楯



- 「仲よし」阿部敦子 (岩手県一関市)
- 「初めての体験」田中辰一郎 (群馬県前橋市)
- 「気分は涼、良」小林剛浩 (千葉県市川市)
- 「なかよし」石川節子 (神奈川県相模原市)
- 「熱唱」井木かよ子 (新潟県長岡市)
- 「花型娘」横川恵美子 (静岡県焼津市)
- 「お母さん」小野内美由紀 (愛知県稲沢市)
- 「おだんご」中島真由美 (愛知県常滑市)
- 「台所からこんにちは」久世泰子 (三重県松阪市)
- 「ファミリー」河合末海 (三重県鈴鹿市)
- 「きれいでしょ」清水宏佳 (広島県広島市)
- 「ホリデー」藤井達文 (広島県福山市)
- 「お兄ちゃんだわ」鈴木大郎 (福岡県春日市)
- 「くッキングボーイズ」平田幸子 (山口県下関市)
- 「きれいな海だよ」村川浩一 (徳島県板野郡)
- 「ボクのともだち」岸田知久 (徳島県麻植郡)
- 「新しい仲間」木村百代 (香川県高松市)
- 「祭りの子」梅原都志光 (愛媛県松山市)
- 「庭で散髪」吉岡直樹 (島根県簸川郡)
- 「水遊び」山路敬郎 (福岡県行橋市)
- 「自慢」永野 豪 (福岡県朝倉郡)

入選 (300名) 記念品 (消型) と楯

- 北海道
小田拓生(函館市)「春の薫りに誘われて」
山岸哲史(山越郡)「とどいた」
むらうちかつお(山越郡)「只今、放水中」
釜谷裕子(函館市)「もうげんかい」
小芝千文(函館市)「お水のみなさん!!」
庄司昭子(苫小牧市)「お兄ちゃんだよ」
泉 真由美(釧路市)「はじめてのプール」
岩崎宏紀(釧路市)「ようこそ」
小笠原由美(釧路市)「夏〜好き」
庄司昭子(釧路市)「つかまえてやる」
河治まなみ(旭川市)「エイ、エイ、オウッ!!」
斎藤友美(河西郡)「見て、Wプリッ!!」
境 直美(札幌市)「おひるね」
西山輝海(札幌市)「あー、ヨッっ!!」
益田久美(札幌市)「はよう!!」
田中茂雄(札幌市)「もう誰いた」
千坂恵子(札幌市)「大きなやまがいつか」
中村玲菜(札幌市)「自然の中で」
中山洋美(札幌市)「はい、どうぞ」
番場裕治(札幌市)「娘とどうさぎ」
前田 咲(苫小牧市)「う泣」
松本 忠(浦河郡)「おもしろ」
- 岩手県
猿崎澤 真秀(釜石市)「水中ポーズ」
小畑一弘(一関市)「おひるね」
千田 久(水沢市)「友達」
田口かの子(一関市)「まつり」
佐々木 修(盛岡市)「怖いよー!!」
- 宮城県
福島みどり(石巻市)「来、来たあー!!」
及川克徳(志田郡)「ヨーイッ」
安孫子 暁(盛岡市)「Yの木、みつた!!」
- 秋田県
新堀修一(秋田市)「生きてるヨ!!」
高橋 寿(湯沢市)「あ」
- 山形県
平 昌明(東田川郡)「あやみちゃん」
佐藤成道(山形市)「初めてのひよこ」
佐藤正男(飽海郡)「朝仕事」
佐藤輝夫(天童市)「かたまたまのぼって来たよ」
- 福島県
鈴木裕子(福島市)「薄く切るの上手でしょ!!」
阿部純一(福島市)「ママへおしゃべり」
松田 熱(伊達郡)「ママの赤ちゃん」
坂本礼三(福島市)「馬こっぴ」
菊地長四郎(喜多方市)「雪国のお供」
- 群馬県
飯塚 篤(甘楽郡)「ママ、きれいだよ」
豊田重平(太田市)「チビッコローラー」
栗田 進(太田市)「ひまわりときーちゃん」
谷島 孝(前橋市)「家族で」
浅井鉄雄(佐波郡)「こんにちは」
- 埼玉県
宮川綾子(川口市)「落葉集めて」
森田和雄(坂戸市)「つかまえた」
中庭妙子(坂戸市)「まつりの日」
田中美津代(飯能市)「大好き」
若沢美江子(坂戸市)「仲よし」
柳 みか(坂戸市)「すいか割り」
石山昭治(熊谷市)「出番」
高井末佳(草加市)「いたずらこそう」
- 千葉県
泉 英伸(千葉市)「あま茶をどうぞ」
佐藤令子(松戸市)「逃げろー」
- 東京都
佐藤 円(前田市)「一緒に遊ぼう!!」
堤見晴康(江戸川区)「先生がんばれ!!」
- 神奈川県
磯田ともみ(藤沢市)「ざりがみつた!!」
- 愛知県
水戸 栄(藤沢市)「抵抗」
越地力蔵(小田原市)「いい朝いいきの日」
高橋三郎(相模原市)「波ときょうそう」
新聞 浩(川崎市)「こわいよー」
田村有紀(横浜市)「初めての散髪」
木村和人(高座郡)「今日の収穫」
- 山梨県
阿井美代子(中巨摩郡)「どろんこ遊び」
跡部恵美子(甲府市)「いたずら」
青柳かよ(甲府市)「逃げる逃げる」
小林三紀(甲府市)「背へらへら!!」
鈴木茂子(南都留郡)「いい湯だな!!」
渡辺征子(富士吉田市)「むすんでひらいて」
- 長野県
久保村 勝(伊那市)「ウワ〜流される」
吉澤武保(上伊那郡)「どろんこだー!!」
後藤寛次(下伊那郡)「仲よし」
谷頭由美子(南安曇郡)「大きななあ」
矢口泰子(塩尻市)「つめたー!!」
柳澤英幸(東筑摩郡)「おどろき」
沢内洋文(佐久市)「お水遊び」
萩原恵美(中野市)「踊るよ」
- 新潟県
荒木瞳子(新潟市)「ある夏の日」
植木 元(柏崎市)「祭りっ」
小島寛代(柏崎市)「うまっちゃった!!」
川上秀子(南魚沼郡)「Myシャワー」
田中 薫(新発田市)「天までとどけ!!」
猪股政徳(新潟市)「止まれ」
- 滋賀県
小野田悠哉(長岡市)「あーっきもちE」
早川昭雄(長岡市)「狐の子」
藤原 晃(三条市)「カメちゃん よしよし」
- 富山県
堀 一人(石浜郡)「あーおちたよー」
荒木博昭(高岡市)「仲よし」
清水周悦(魚沼市)「プレッヒッ」
北野なおみ(高岡市)「おひるね」
黒木美雪(富山県)「コクシオン」
森川和広(富山県)「悪ガキポーズ」
岡井邦子(新湊市)「貴ちゃんの子どもの日」
- 石川県
山口真理子(小松市)「おひさま、まぶしいよ」
堀 真紀(小松市)「夏フンバクざら」
- 岐阜県
曾我孝行(中津川市)「春 見つけたよ」
竹村和子(各務原市)「水遊び」
二村美子(各務原市)「よいいドボン!!」
堀 英彦(多治見市)「掃除ができたよ」
坂野 隆(岐阜市)「カブトクワガタと友だち」
田中宏幸(岐阜市)「ようこそ、わたらのうさぎ」
石田 尚(本巣郡)「顔がかかいませんように」
石田有樹(本巣郡)「プーン!!」
川瀬 一(大垣市)「水鉄砲」
小森喜芳(岐阜市)「初めてのオートバ」
- 静岡県
浅井恵子(静岡市)「かぼちゃのいす」
繁野谷 香里(焼津市)「たすけあい」
米村紀人(静岡市)「仲よし4人組」
館石 晶(掛川市)「もうあきちゃった」
野村君江(静岡市)「はじめまして」
松本きよ子(富士市)「おとつと」
村上佳子(静岡市)「息子のお友達」
小澤剛幸(榛原郡)「甘〜い!!」
鈴木玲子(静岡市)「ゆめ」
山崎高史(静岡市)「涙がキラキラ☆」
近藤久直(静岡市)「わあ〜っ」
山田英雄(清水市)「お散歩」
斎藤泰幸(清水市)「行けドッピン号!!」
勇男貴吉(浜松市)「おはなをしを」
- 愛知県
上田勝政(安城市)「わんぱく、キャッチャー」
浅岡由次(知立市)「みかん畑で」
小嶋哲哉(碧南市)「返戻」
加賀義和(倉吉市)「さんぽ」
加賀友美(倉吉市)「キモチー!!」
川村一子(知立市)「捕まっちゃっよ」
榎本真美(一宮市)「お姉ちゃん!!」
若川 麗(豊田市)「親う」
岡田敬明(岡崎市)「逆戻」
加藤美次(豊橋市)「エイエイ!!」
加藤美次(豊橋市)「仲よし」
阪下真里(名古屋東区)「モンキージャングル」
須田浩樹(豊田市)「海みすくり」
田中克典(豊川市)「大好物♡」
田淵仁之(岡崎市)「ママごめなさい」
榎井武郎(豊橋市)「モー、いやだなー」
林 達也(愛知郡)「初めての浴衣〜満面の笑み〜」
- 三重県
小川直志(三重郡)「好奇心」
新聞保次(尾鷲市)「ご満悦」
中古 隆男(伊勢市)「おおいな〜」
山本真理(津市)「ねえ、早く寝て!!」
和久田三吉(久居市)「うなぎつかまへたぞ (うなぎつかみ)」
- 星山清太郎(伊勢市)「負けないぞ」
久世 典(松阪市)「妹 誕生」
渡辺充正(鈴鹿市)「ほくの獲物」
- 滋賀県
小川 正(野洲郡)「水遊び」
村上輝子(野洲郡)「名バグター」
山本浩二(八日市市)「ちょっといっふっ!!」
- 京都府
齋藤健子(京都市)「いたずら(やと)とくく〜になっ (あっちこちポピン)」
- 佐藤 整(京都市)「おもしろい」
浅野 誠(京都市)「はじける」
中野博司(宇治市)「発車オーライ」
林 幸夫(亀岡市)「孫がスイカ、20kg200g 持ち上げる風景」
- 大阪府
太田孝郎(岸和田市)「シーソー」
安藤若彦(高槻市)「詰められたあ」
池田真夫(和泉市)「泣き相撲」
吉川敦子(堺市)「私、なおちゃんです」
伊東保典(堺市)「オ〜っ」
石島島子(堺市)「お風呂 大好き(1)」
森川和子(新湊市)「貴ちゃんの子どもの日」
二上次郎(東大阪市)「わんぱく娘」
- 兵庫県
川口淳一(姫路市)「ボク、怒ったゾー」
黒田隆将(西宮市)「出発進行!!」
藤原茂夫(高砂市)「妻畑」
山崎しずよし(姫路市)「いもほり〜ですよ」
高野雅也(相生市)「早く大きくなー!!」
大西健治(南本市)「花のよこほり」
野口雄子(尼崎市)「水しぶき」
福井恭子(宍粟郡)「ある午後ひととき」
渡辺明生(赤穂市)「僕らのお城」
久保智恵子(赤穂市)「雨ふり」
- 奈良県
田坂恵子(生駒郡)「川遊び」
乾 奈々(大和高田市)「My first baby」
沢木 仁(香芝市)「フランク1番取りだ!!」
吉川純子(大和高田市)「わたし、きれい!!」
- 和歌山県
瓜元一(大和高田市)「こわこわスマイル」
吉田京子(奈良市)「手のなる方へ」
星川明美(奈良市)「お兄ちゃんがんばる」
- 和歌山県
斎藤晴美(有田市)「ちょっとつまみ食い」
堀田多務良(海草郡)「ほくの氷行」
島本泰裕(和歌山市)「夢の中」
安藤寛人(橋本市)「笑顔でゴール」
- 鳥取県
花原伸幸(境港市)「ほくの居場所」
山田秀之(倉吉市)「やめなさい」
和田和美(松江市)「お花さんこんにちは」
吉岡直樹(福山市)「ソワさん 食べて」
- 岡山県
森安 林(岡山市)「一生懸命」
西本道郎(赤松郡)「ウヒー」
岡田里美(浅口市)「桜の香り満喫」
神田久雄(倉敷市)「僕らの名前」
神田久雄(倉敷市)「いたずら」
宮中マコト(倉敷市)「少女」
山本洋子(邑久郡)「コスチュームもったせ!!」
- 広島県
石田雅行(広島市)「ヤッホー」
大平幸恵(福山市)「幼女」
高越 修(福山市)「春の日」
松岡正明(深安郡)「こわくないよ」
岡田 功(広島市)「背くらへ」
浅海清子(広島市)「見て見てトンボ!!」
田平 一(庄原市)「すべ台のほれるよ」
大谷京子(庄原市)「かわいいてしょ」
中家千鶴(竹原市)「砂遊び(ハンザイ)」
垣崎雄三(広島市)「ママの床屋さん」
橋 康友(広島市)「ボクも撮ってよ」
桑本英次(福山市)「雨とさどき サル?」
村上 晃(尾道市)「好奇心」
- 山口県
平岡 徹(岩国市)「ハッピー・フレンド」
対比地 慎二(阿武郡)「こちにおいで」
藤永照美(下関市)「エイッ!!」
高増博之(宇部市)「海の子」
- 徳島県
塚本 登(板野郡)「熱演(2)」
林本政高(徳島市)「満面の笑み」
榎野シゲ子(徳島市)「元気な子」
金山正志(那賀郡)「おっ!!」
紅雲橋一(阿南市)「ジャンケンポン」
林 好一(那賀郡)「ロボットの犬ちゃん今日は」
故島永幸(美馬郡)「よいいドン!!」
佐野光子(美馬郡)「行き」
中尾一(那賀郡)「かわいいな」
日出顕作(麻植郡)「ハンザイ」
岡本博子(麻植郡)「里帰り」
- 香川県
小西淳子(高松市)「あーつかれた」
岡沢身体(木田郡)「もう、やめてよー!!」
杉原令子(高松市)「うわぁ〜」
寺島真夫(高松市)「つめたーい」
橋岡美紀(綾歌郡)「海でままたごお弁当が出来たよ」
- 愛媛県
平井貴美子(高松市)「お〜こちだヨ!!」
西ヨシ子(観音寺市)「子供歌舞伎」
田崎三豊(高松市)「大きななあ」
- 愛媛県
森森 齊(北宇治郡)「出番前のきょうだい」
沼田 学(新居浜市)「弱冠電音ボックス」
兵頭正徳(松山市)「なんだプー」
村上三四子(伊予郡)「ちょっと失礼」
渡部己己(松山市)「好き好き」
秋山泰子(松山市)「おもしろかった」
野村尋子(松山市)「ターザン」
- 愛媛県
近藤かすみ(新居浜市)「海水浴」
白石みどり(東予市)「うれー」
山本雅一(東予市)「そらめ流し」
寺岡樹樹(上浮穴郡)「二人で花火」
松田知子(温泉郡)「はじめての夏」
- 高知県
浜田恵美(高岡郡)「いつものお昼寝」
北代れい子(中村市)「よさこいの汗」
田村善穂(吾川郡)「姉妹」
- 福岡県
川原英典(久留米市)「三兄弟」
永野龍範(久留米市)「お友達」
北原千里(粕屋郡)「ふたこ」
鈴木大郎(春日市)「ヨイショ」
高橋三之(福岡市)「波のいたづら」
水田昭雄(大野城市)「上手に写して」
西 豊(遠賀郡)「見つめる」
湯湖広美(北九州市)「大きなあ モーさん」
久野美也子(北九州市)「よっこらよっ!!」
宮城ヤスヒ(北九州市)「よしよし泣くな弟よ」
平野辰二(北九州市)「躍動」
矢野 章(宗像市)「ほくたちの山登り」
山路敬郎(行橋市)「夏の日」
池田勝久(三井郡)「3兄弟」
寺崎正澄(福岡市)「まねっこ」
友永芳隆(大牟田市)「オモシロイナ〜」
山中美恵子(筑紫郡)「水あそび」
- 佐賀県
池田克則(東松浦郡)「ブランコの練習」
鬼塚勝衣(東松浦郡)「今から海遊びにチャレンジ するんだよママ」
- 大分県
大野明子(杵築郡)「やさしくね」
錦織昭子(佐賀市)「オリンピック選手(鉄棒)」
桑本英次(福山市)「雨とさどき サル?」
丸林知美(神埼郡)「水あそび」
吉賀真衣子(三養基郡)「泣かないで」
- 長崎県
高本博美(佐世保市)「川の流れるように」
増永康一(長崎市)「水しぶき」
増永満子(長崎市)「きもちEー!!」
兵衛百合子(佐世保市)「かけちゃうぞー」
- 熊本県
山本聡子(熊本市)「次は僕ね」
江上正治(熊本市)「行き」
牛島昌信(熊本市)「よろしくね!!」
高橋昭彦(熊本市)「水あそび」
後藤隆一(八代市)「おひるね」
豊永 哲(熊本市)「チャッ」
- 大分県
河津直美(日田市)「じゅわっ!!」
佐藤隆博(日田市)「はい、どうぶつ」
田辺紀子(大分市)「くたばって!!」
本宮智弘(大分市)「たすけて〜」
矢倉宣江(津津市)「フル大好き」
- 宮崎県
曾師保育所(宮崎市)「ヒキニ」
田村達也(宮崎市)「水遊び」
永野 忠(宮崎市)「姉弟」
谷村龍生(小林市)「フルフル」
坂下裕幸(北諸県郡)「がんばって〜!!」
中原順一(宮崎市)「楽しい休日」
矢野金造(延岡市)「おやすみ」
山口好子(延岡市)「川遊び」
- 鹿児島県
祝所泰枝(国分市)「特産品?」
- 沖縄県
大城香代子(浦添市)「ワー! ボクがいっぱい」
長堂嘉秀(那覇市)「仲よし」

入賞作品発表!

主催: カメラのキタムラ 協賛: 富士写真フイルム(株)
応募総数 約8,400点

「第8回子ども&赤ちゃん すくすくフォトコンテスト」にたくさんのご応募ありがとうございました。約8,400点の応募総数の中から見事に入選された方々をここに発表させていただきます。

総評: 全体的にレベルが上がってきています。これはひとえに皆さんの勉強の賜物だと思います。ただ漠然と写真を撮るのではなく、工夫を凝らした撮る人の意志が伝わってくる作品が多く見られました。選ぶ私としては心を鬼にして、ほんのわずかな差で受賞作品を選出しましたので、わずかな気遣いの有無が入賞と入選の差になりました。今回入賞を逃された方々も、次回、再びチャレンジしていただきたいと思っております。



審査員 沼田 早苗さん

めまた さなえ/ '68年大竹重二氏に師事。'78年フリーの写真家となり商業写真、取材写真を手がけ、ライフワークとして著名な男性のポートレイトを撮影。写真展には「私の写真録PART-I・II・III・IV [みんなみんな、書き損]「もう一人の日本人」などがある。

審査風景

最優秀賞 (5名) 賞金5万円と楯



「新鮮だーいすきっ!!」
小野寺美也子 (岩手県盛岡市)
「アラーどうしたの?」
西尾美代子 (静岡県清水市)
「ハピニング」
田坂恵子 (奈良県生駒郡)
「プレゼント」
杉江輝美 (兵庫県明石市)
「二人ぼっちの少年ラガー」
大高久昌 (愛媛県伊予三島市)



「きれいな海だよ」
村川浩一 (徳島県板野郡)
「ボクのともだち」
岸田知久 (徳島県麻植郡)
「新しい仲間」
木村百代 (香川県高松市)
「祭りの子」
梅原都志光 (愛媛県松山市)



「お兄ちゃんだわ」
鈴木大郎 (福岡県春日市)
「くッキングボーイズ」
平田幸子 (山口県下関市)
「きれいな海だよ」
村川浩一 (徳島県板野郡)
「ボクのともだち」
岸田知久 (徳島県麻植郡)
「新しい仲間」
木村百代 (香川県高松市)
「祭りの子」
梅原都志光 (愛媛県松山市)



「きれいでしょ」
清水宏佳 (広島県広島市)
「ホリデー」
藤井達文 (広島県福山市)
「お兄ちゃんだわ」
鈴木大郎 (福岡県春日市)



グランプリ (1名) 賞金10万円と楯

「My Twins」
田村伊津子 (静岡県清水市)

寸評: 背景の黄色い毛布がモダンでシンプルな作品に仕上がっています。このシンプルな背景に助けられて、双子の赤ちゃんの微妙な違いが印象的に伝わってきます。高度なテクニックを使用しているわけではないのですが、力強く魅力的な作品だと思います。

優秀賞 (10名) 賞金3万円と楯



「未来のトップレーサー」
市川弘幸 (北海道北広島市)
「まわれまわれ」
中川 晋 (秋田県雄勝郡)
「気持ちいい!!」
高井末佳 (埼玉県草加市)
「いつもいっしょ」
小室三喜雄 (東京都足立区)
「見合っ!!」
外戸孝雄 (長野県長野市)
「ちびっこ義士」
吉田ゆり子 (大阪府阪南市)
「ワンちゃん 大好き!!」
長尾ゆかり (三重県四日市市)
「水しぶき」
田中勝利 (三重県鈴鹿市)

——写真の達人 最初的一步——

露出を理解して 写真の醍醐味を知ろう!

協力/株式会社セコニック

露出って何だもん?

露出とは簡単にいってしまえば、太陽などの光源から発した光が被写体に当たって反射し、その反射した光をカメラのレンズを通してフィルムに適正量を与えることです。そして、その光の量は絞りとシャッタースピードで決まります。

こんなことはないですか? 下の2枚の写真を見比べてみてください。片方は人物の顔が明るく、きれいに写っています。もう一枚は暗く写っています。皆さんも、このように人物の顔が暗くなってしまった経験があるのではないですか。なぜ、暗く写ってしまうのさ? そんな疑問をお持ちになったことはありませんか。その疑問の答えこそ露出なのです。

そこで、まずこの絞りとシャッタースピードの説明からいたしましょう。たとえば水道の蛇口から水を流したところを想像してみてください。蛇口を大きくひねって一度にたくさん水を出すと、バケツには早く水が溜まります。逆に蛇口を小さくひねると、水は少ししか出ませんか。バケツに水を溜めるのにも時間がかかります。



最近のカメラはどれもオートになっていますので、ピントや露出をカメラ任せにしている方も多いことでしょう。もちろん、それでも十分にきれいな写真が撮れるのですが、時には仕上がった写真を見て「おや?」と首をかしげたくなくなったことはありませんか? スナップで撮った子供の顔が予想以上に暗く写っていたり、真っ白だった雪原が灰色に写っていたり...カメラの故障? いえいえ、おそらくカメラは壊れてないと思います。これは多くの場合、露出の問題なのです。カメラのオート機能はどんな時、どんな被写体にも万能というわけではありません。時にはちよつとした「味付け」が必要になる場合があります。今回はこの露出についてお話ししましょう。

SIGMA



OUR
WORLD

街は、レンズを惹きつける色彩にあふれていた。アリゾナ州ツーソンにて。
Ben Simmons/1952年、アメリカ・ジョージア州生まれ。フロリダ大学で写真を学ぶ。その後、同大学をはじめ、各種の学校で講師として写真を教える。1982年にフォトジャーナリストとして来日、独自の視点で日本を紹介した写真集を出版するなど、広範な創作活動を展開している。撮影データ:シグマ 28-135mm F3.8-5.6 ASPHERICAL IF MACRO、1/60秒、F16

ベン・シモンズが世界を撮ったとき、手にしていたレンズはシグマだった。

NEW



輝く光が家並みを色彩のパレットに変えていた。その美しい光景を、絵画を描くようにシグマで捉えた。広角28mmから望遠135mmまでをカバーするコンパクトなサイズのズームレンズ。最大撮影倍率1:2のテレマクロ機能を搭載。ズーム全域で最短撮影距離50cmの近接撮影が可能。非球面レンズの採用により、球面収差と非点収差を良好に補正、高い光学性能を実現。インナーフォーカス方式により前玉が回転せず、円偏光フィルターの使用も容易です。

広角から望遠、接写までを1本でカバー、行動派のテレマクロ・ズームレンズ。

SIGMA 28-135mm F3.8-5.6 ASPHERICAL IF MACRO

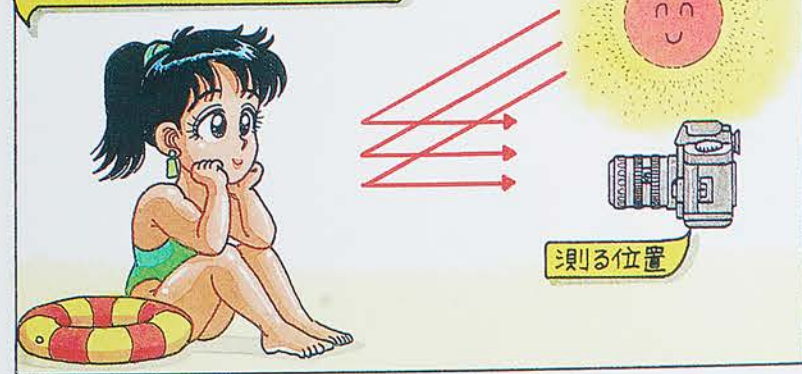
お問い合わせは、株式会社シグマ 〒201-8630 東京都新宿区西新宿2-3-15 tel. 03(3480)1431まで。シグマ ホームページアドレス <http://www.sigma-photo.co.jp>

●AF希望小売価格(税別):43,000円
パーフェクトフード付
シグマSA用、キヤノンEOS用、ニコン用、
ミノルタA用、ペンタックス用

露出を理解して写真の醍醐味を知ろう!

●反射光式と入射光式

●反射光式の測光方法



●入射光式の測光方法



反射光式は、被写体に当たって反射した光(輝度=明るさ)を測定するのに対して、入射光式は被写体に当たる光の量(照度)を測り正確ですが、被写体位置で測らなければいけないので、機動的とはいえません。

ターンスピードを優先して撮りたい場合には、撮影モードをシャッター優先A Eに合わせます。するとカメラは、撮影者が決めたシャッタースピードに最適な絞りを算出して、自動的に調整してくれます。逆に絞りを優先的に決めたい場合には、撮影モードを絞り優先A Eに合わせます。するとカメラは、撮影者が設定した絞りに最適なシャッタースピードを算出して、自動的に調整してくれます。

このようにA Eを使ってカメラは最適な露出で写真が撮れるようになっていくわけですが、しかし露出は被写体の状態や、被写体の置かれた条件によって変化するため、カメラが露出を算出するためには、カメラが被写体の状態を知っていなければなりません。

この、カメラが被写体の状態を知る、いわばカメラの目とも言える機能を担っているのが露出計です。露出を測る方法には、被写体に当たっている光の量そのものを測定する入射式と、被写体に当たって跳ね返ってきた光を測定する反射式という二つの方法があります。現在のカメラに装備されている露出計は、ほとんどが反射式のものを採用しています。

光の反射は色によって変化します。白は光をたくさん反射しますし、黒はほとんど反射しません。この反射の割合を「反射率」といいます。私達が通常目にしている景色の中には様々な色が含まれていますが、これら自然界の色の平均的な反射率は18%です。ですから、カメラの露出計が測定する基準にも、この18% (グレー) が採用されています。

ところが実際の撮影の際に、ファインダーの中が必ずしも平均18%の反射率になっていないとは限りません。実用的に考えれば本当は狙った画面ごとに基準値(18%)は変化するはずですが、また、仮に

さて、このようにA Eを使ってカメラは最適な露出で写真が撮れるようになっていくわけですが、しかし露出は被写体の状態や、被写体の置かれた条件によって変化するため、カメラが露出を算出するためには、カメラが被写体の状態を知っていなければなりません。

この、カメラが被写体の状態を知る、いわばカメラの目とも言える機能を担っているのが露出計です。露出を測る方法には、被写体に当たっている光の量そのものを測定する入射式と、被写体に当たって跳ね返ってきた光を測定する反射式という二つの方法があります。現在のカメラに装備されている露出計は、ほとんどが反射式のものを採用しています。

光の反射は色によって変化します。白は光をたくさん反射しますし、黒はほとんど反射しません。この反射の割合を「反射率」といいます。私達が通常目にしている景色の中には様々な色が含まれていますが、これら自然界の色の平均的な反射率は18%です。ですから、カメラの露出計が測定する基準にも、この18% (グレー) が採用されています。

ところが実際の撮影の際に、ファインダーの中が必ずしも平均18%の反射率になっていないとは限りません。実用的に考えれば本当は狙った画面ごとに基準値(18%)は変化するはずですが、また、仮に

はじめに露出計ありき

18% (グレー) を満たす風景を狙ったとしても、その中に極端に光っている部分がある、たとえば逆光状態での撮影などでは、18% (グレー) を基準としている露出計は適正値を示せなくなります。

そこで最近のカメラには、このような露出計の限界を補うために、メーカーご

コラレ 補正

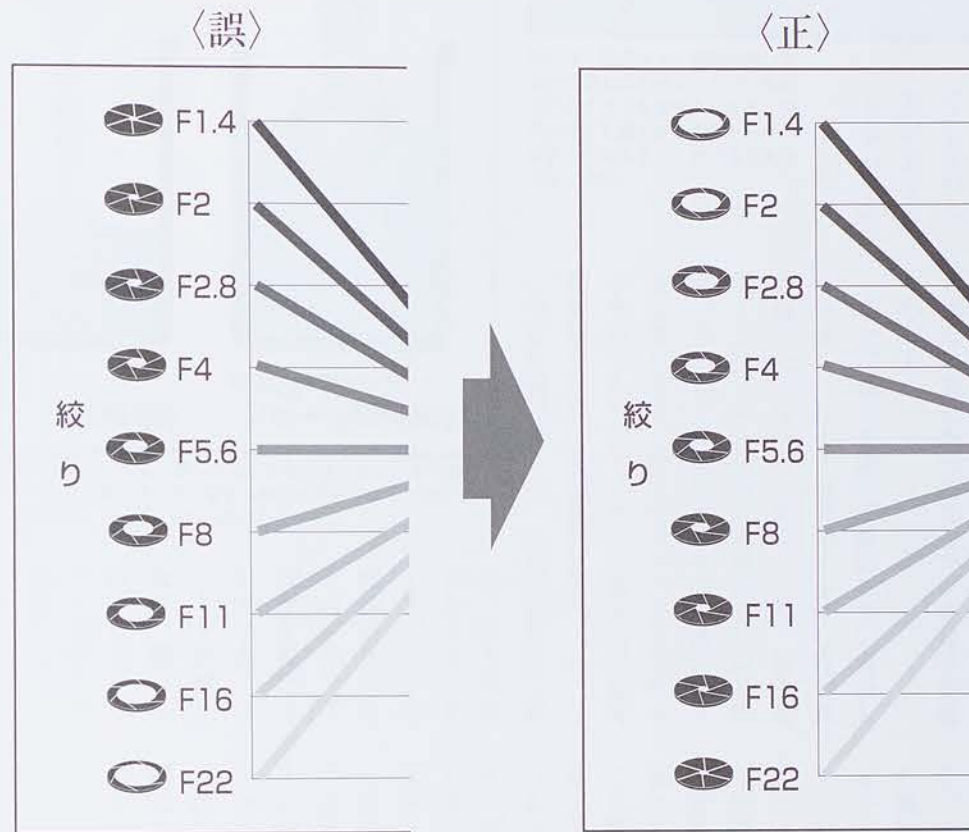
適切な露出で撮ったはずなのに、仕上がった写真が見た目と大きくかけ離れる要因のひとつとして、光の色温度の違いが挙げられます。例えば、朝夕と昼間では色温度が異なります。色温度はケルビンで表されますが、昼光では平均5500ケルビン、朝夕は4800ケルビン前後となります。

また、蛍光灯、水銀灯などの人工光源の種類によっても変化してしまいます。これらの色温度の違いをカメラの露出計は感知できません。それで見えた目のイメージと大きく離れた写真になってしまいうことがしばしば起きます。この場合はフィルターなどでの色補正が必要になります。

参考文献・日本理工出版会「写真技術用語事典」1992年版

お詫びと訂正

拝啓 平素のご高配に深く感謝申し上げます。
この度、フотライフ四季35号、保存版の22ページ、右下の「絞りとシャッタースピードの組み合わせ」の図において不備がありましたことをお詫び申し上げます。



読者の皆様を混乱させ大変ご迷惑をおかけしました。
今後このようなことがないように十分に配慮してまいります所存です。
大変ご迷惑をおかけ誠に申し訳ありませんでした。

敬具
フотライフ四季 編集部

明したように、シャッ

●絞

絞る 速い

絞り シャッタースピード

絞りとシャッタースピードの関係はシーソーのようなもの。

れと同じことで、絞りを開いて一度にたくさん光をフィルムに当てた場合、シャッタースピードを速くしてやらないと、フィルムに光が当たりすぎてしまい、白っぽい写真になってしまいます。逆に絞りを絞った場合は、シャッタースピードを速くしただけではフィルムに

い写真になってしまいます。被写体によっては、シャッタースピードを速くしたくなるような場合があります。たとえば活発に動いている動物や、微妙な風に揺れる花を撮影する場合などがそうです。こうした場合にシャッタースピードを速くした場合はフィルムに

絞りを優先? シャッター優先? カメラの頭脳A E
カメラがオートで露出を決める仕組みをA

露出を理解して写真の醍醐味を知ろう!

コラム

露出を理解するとは、 写真表現の第二歩!

露出量が少ない、暗い写真はすべて悪い作品なのでしょうか? また、露出量が多い、白っぽい写真はすべて悪い作品なのでしょうか? 写真家の方々の作品を拜見すると、暗い写真にも傑作は多いですし、明るい写真にも名作があります。そうなんです、露出の善し悪しは、その撮影者が写真を通して何を表現するのかという、「撮影意図」を踏まえて、はじめて決まるものなのです。

たとえば人物写真を撮る場合でも、露出量を少なくして暗くすると濃厚な人柄に見えてきますし、露出量を多くして明るくすると活発でさわやかな人柄に見えてくることがあります。露出を理解し、コントロールすることは写真表現の第一歩です。写真の素晴らしさ、面白さを知ろううえでも、是非マスターしてください。



評価測光 (多分割測光)



中央部重点平均測光 (中央重点測光)



中央部分測光 (スポット測光)

写真協力: キヤノン販売株式会社

とに独自の測光方式が工夫され、用意されています。

どんな写真を撮るのかで測光方式が決まる

カメラメーカー各社が装備させている測光方式には、大別すると多分割測光、中央重点測光、スポット測光の3種類があります。カメラの機種によっては、これらの測光方式のすべてが装備されていないものもありますし、独自の名前をつけているものもあります。

多分割測光…ファインダー内の画面をいくつかに分割して、それぞれの部分の光の反射量を測定して、被写体の置かれた状況を画面全体から総合的に判断して露出値を決めます。逆光などの撮影条件でも、人物が暗くなりにくい露出値を算出します。メーカーによっては分割測光、評価測光、マルチパターン測光などとも呼ばれています。

中央重点測光…ファインダー画面の中央部の光の反射量を重点的に測定する方式で、被写体を中央に置いて、重点的に正確な色合いを出したいときに向いています。

プラス? マイナス? 露出補正は最後の砦

露出補正はプラスかマイナスかのどちらかです。ただし、どれだけ補正すればよいかを決めてくれる「露出補正計」などというものは、どのようなカメラにも装備されていません。これはやはり勘と経験に頼るしかないので、ただセオリーはあります。一面の銀世界など、「白く反射するものが多い被写体にはプラス補正」です。これは強烈な光がカメラの測光機能に反映されすぎて、見た目よりも暗くなりすぎてしまうのを補正するのです。逆に機関車のように「黒く暗い被写体にはマイナス補正」です。同様に、見た目よりも明るくなりすぎてしまうのを補正します。

露出補正の方法については、お手持ちのカメラの取扱説明書でご確認ください。(カメラによっては、露出補正機能がないものもございます。)

補正量は特別な意図がない限り、あるいは陽の当たる雪原を撮影するといった、極端な条件での撮影でもない限り、通常は1~1.5程度の補正にとどめます。どのカメラも補正範囲を最大で2~3段階にとどめています。それで十分なので

ここまでお読みいただいたところで、最後にもう一度、最初の2枚の写真をみてください。暗い方はカメラのAEその

まま撮った写真です。明るい方は人物の顔が逆光で暗くなるので、プラスの露出補正を加えたものです。露出補正の大事なことが、おわかりいただけましたでしょうか?

露出、それはカメラを理解し、作品づくりをする上で、最も難しいもののひとつです。しかし、それだけに、写真の醍醐味でもあるのです。そしてカメラは自転車にも似ているように思えます。自転車はなぜ転ばないのか、これを説明するのは大変です。でも、コツさえつかめば、

自転車は小さな子供でも乗れるのです。考える前にシヤッターを押してみよう。絞りやシャッターの優先AEを試してみよう。今まで使ったことのなかった測光モードを試してみよう。補正を加えてみましょう。そしてその結果を作品で確認してください。難しく考える前に撮ってみる。それこそが写真の達人への第一歩なのです。

イラスト協力: キヤノン販売

セコニックの露出計

今回の保存版を制作するにあたり、各種露出計を制作・販売されている株式会社セコニックに協力をお願いいたしました。



ズームマスター L-508

世界初一眼ズーム(1"~4")内蔵の多機能フラッシュメーター
メーカー希望小売価格
68,000円(税別)



マルチマスター L-408

一眼式(5")内蔵の多機能フラッシュメーター(L-508型の姉妹機)
メーカー希望小売価格
49,500円(税別)



ツインメイト L-208

入射・反射兼用のコンパクト定常光メーター
メーカー希望小売価格
23,500円(税別)



フラッシュメイト L-308B II

携帯に便利なポケットサイズのフラッシュメーター
メーカー希望小売価格
34,000円(税別)

SEKONIC

インターネットプリントサービス

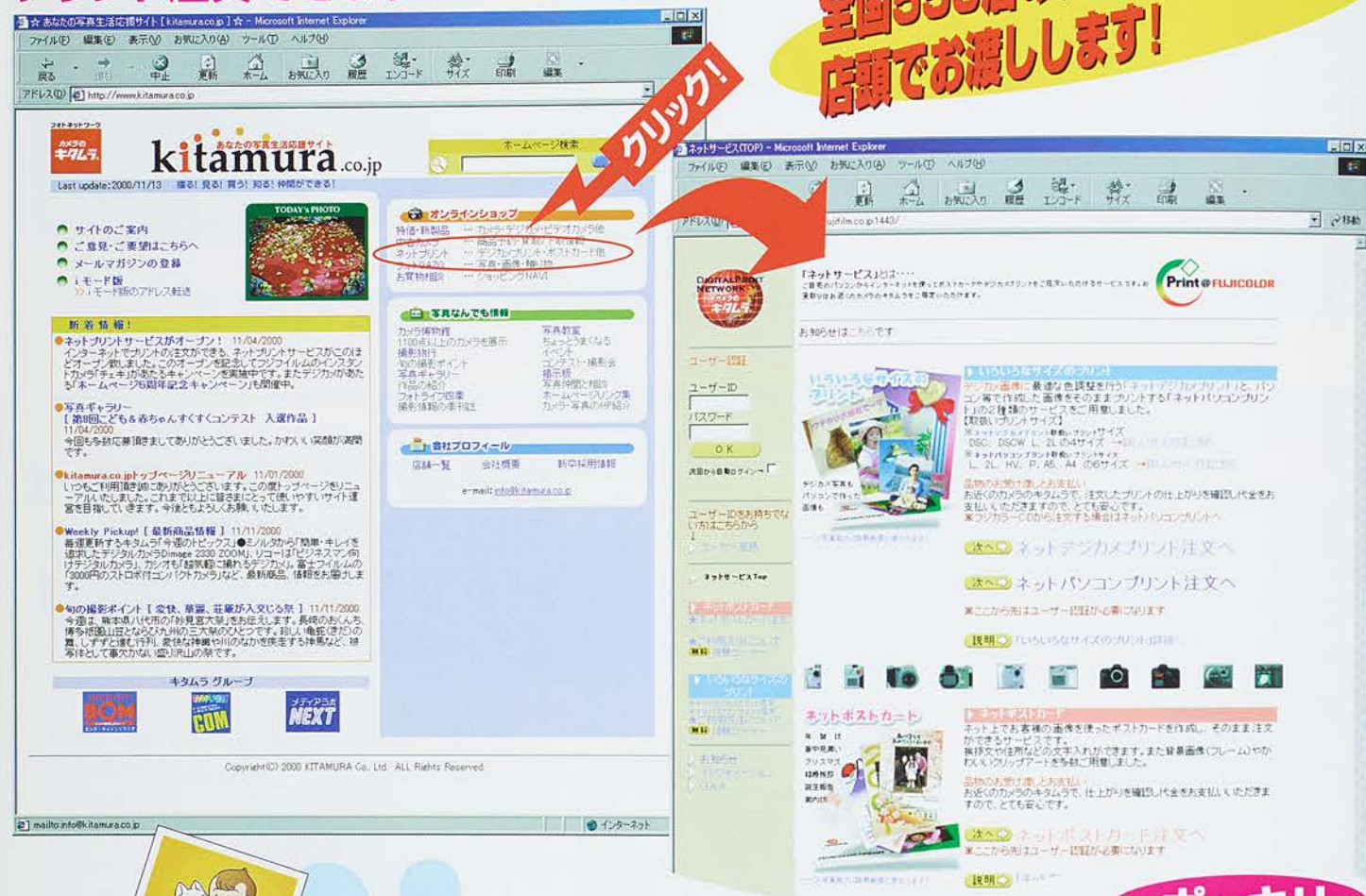
あなたの写真生活応援サイト
kitamura.co.jp
 撮る!見る!買う!知る!仲間ができる!

**デジカメプリント
 基本料金無料**

高品質フジカラープリント

全国550店のカメラのキタムラの店頭でお渡しします!

デジカメで撮影した画像が
 パソコンからインターネットを使って
 プリント注文できます!



ネットデジカメプリント 1枚 **35円** (DSC・Lサイズ)
基本料金無料

ネットポストカードプリント 1枚 **50円** (30枚以上)
基本料金 1件 1,200円+八ガキ代 (1枚50円)

ポッキリ

キタムラネットサービスとは



おためしください

是非、ご利用ください!

1 キレイ 長持ち! 高品質な銀塩プリントだから、ご家庭のプリンターに比べ、圧倒的に美しく、長持ち。

2 イライラ解消! プリンターで印刷する時の「イライラ」から開放され、面倒な出力が不要です。

3 安心! 便利! お近くの「カメラのキタムラ」で確認してから、代金をお支払いいただくので安心便利。

フジカラーCDからでも注文できます。

- ① 同時プリント時に、フィルムの全コマをお手軽価格でCD-Rに書き込みできます。
- ② CD-R1枚に、フィルム5本までOK!



くわしくはカメラのキタムラ店頭で

くわしくはこちらへ!

キタムラのご案内

インターネットでお買い物

ご意見窓口

www.kitamura.co.jp

耳より
コラム

カメラのキタムラ企画の フォトツアーをご存じですか?

名高い撮影ポイントなどに出かける場合、観光ツアーを利用すると便利なのですが、通常のツアーでは観光地めぐりに忙しく、スケジュールが過密でじっくりとカメラを構えている余裕がありません。そうしたご不満をお持ちの方におすすめしたいのが、カメラ好き、撮影好きの方々を知り尽くしたカメラのキタムラが、特別に企画したフォトツアーです。他のフォトツアーとは一味も二味も違う、カメラのキタムラならではの特徴を少しだけご紹介しましょう。

カメラのキタムラが企画するフォトツアーの特徴

●プロカメラマンが同行。

プロカメラマンに同行していただきますので、撮影の実践指導が受けられます。

●撮影仲間の和を広げる絶好のチャンス。

参加する方々はカメラや撮影が大好きな人ばかりですので、撮影仲間を増やす絶好のチャンスです。

●撮影中心のゆったりとしたスケジュールリング。

スケジュールには連泊滞在が用意されていますので、深夜や早朝の撮影もできます。また撮影ポイントでは十分な撮影時間を用意しています。夕食後には同行するプロカメラマンによるミニ写真塾も開催!

●安心して快適な旅行をお楽しみいただけます。

宿泊先は撮影に便利な立地を厳選。快適な撮影旅行をお楽しみいただけます。写真に精通しているベテラン添乗員が同行いたしますので、海外旅行は初めてという方も、また、女性お一人でも安心してご参加いただけます。

●終了後にフォトツアーコンテストを実施。

ツアー終了後にはフォトコンテストを実施し、参加者の作品を同行したプロカメラマンに審査していただき、グランプリや賞を決定します。また、プロカメラマンが講評を加え、皆様のもとに返送いたします。

カメラのキタムラが

フォトツアーの参加者を募集しています!

カメラのキタムラでは、このような国内外のフォトツアーをいつでもご用意して、皆様の参加をお待ちしております。フォトツアーへの参加申し込みは、全国のカメラのキタムラ各店舗で受け付けておりますので、お気軽にお近くのカメラのキタムラまでお問い合わせください。現在キタムラで参加者を募集しているフォトツアーの一部をご紹介します。

広大なサハラと活気溢れるイスラムの街

モロッコ撮影紀行

赤い砂漠サハラ。巨大迷路の街フェズ。赤茶色の美しい街マラケシュ。本格的な風景撮影からイスラムの人々のスナップまで。

撮影指導：沖野豊先生(富士フィルム講師、ミノルタαフォトカレッジ講師)

旅行実施日：2001年2月5日(月)～2001年2月12日(月)の8日間

募集人員：25名(最小渡航人員：15名)

費用(関空発)：288,000円/お一人様・税込み・食事(朝7昼7夕7)・添乗員同行

申込締切：2001年1月12日(金)



世界の奇景・名勝

中国黄山撮影紀行

そびえ立つ無数の岩山、そこに生える松の木。朝の雲海、霧の中の水墨画のような風景、夕景のシルエット。

撮影指導：椎崎義之先生(大阪芸術大学研究室勤務、キャノンEOS学園講師)

旅行実施日：2001年3月20日(火)～2001年3月25日(日)の6日間

募集人員：25名(最小渡航人員：15名)

費用(関空発)：178,000円/お一人様・税込み・食事(朝5昼6夕5)・添乗員同行

申込締切：2001年2月23日(金)



企画：(株)ラボネットワーク

お問い合わせ・お申し込みは

主催：名鉄観光サービス(株)

運輸大臣登録旅行業第55号 日本旅行業協会正会員

〒530-0051 大阪市北区大融寺町 3-24

☎06-6311-2168 (月～金・9～17時)

OLYMPUS
人から発想します。オリンパス



ミューで撮ろうと決めました。



新登場



μ[mju:]ZOOM 140VF
希望小売価格(税別) ¥69,000 (リモコン/本革ケース・ストラップ付)

PENTAX



世界初!『光っておまかせプログラム』搭載。
超小型軽量・リモコン付
AF一眼、デビュー。

光っておまかせ。



MZ-7

希望小売価格(税別) ●MZ-7 ボディー 67,000円
●MZ-7 FAズーム28mmF3.5～80mmF5.6付 93,000円
●MZ-7 FAズーム35mmF4～80mmF5.6付 89,000円
※この広告で使用しているストラップは別売品です。

旭光学工業(株)・ペンタックス販売(株)
◎この商品のカタログはペンタックスのホームページでご覧いただけます。http://www.pentax.co.jp/
◎カタログご希望の方はハガキで、必ず機種名を明記のうえ、
〒100-8692 東京中央郵便局私書箱995号ペンタックス販売(株)宣伝部へ。
◎製品についてのお問い合わせは、お客様相談室へ。03(3572)6479

アクセス友の会



- 設立 1999年5月14日
- 会員数 12名
- 活動 毎月2回の例会、写真展
- 場所 広島県福山市

「アクセス友の会」は2000年の二科展で「二科賞」を受賞した鳥越修氏を発起人として1999年に発足しました。広島県福山市を拠点として、

毎月第2・第4金曜日の夜7:30より福山市中央公民館で勉強会・撮影会等を行い、意欲的に意見交換を行っています。

写真技術の向上はもちろんですが、「見る人に感じてもらえるような写真」を心

情に、風景写真・人物写真等、一人一人が様々なジャンルのスライドを持ち寄り、切磋琢磨しています。

写真好きの20代から70代という幅広い年齢層でのコミュニケーションにより、被写体に対する視点の違いが大いに役立っているように思います。興味のある方はどうぞご参加ください。



浅井宏祐氏作品



麻生一成氏作品



岡田藤子氏作品

ゆもとカメラ同好会

盛川泰次氏作品「犬ぞり」



- 設立 1985年4月
- 会員数 17名
- 活動 年4回程度の学習会や撮影会、年1回の展示会等
- 場所 岩手県花巻市

湯の町、花巻温泉にある湯本公民館の開講講座の一環として、写真の好きな者同士が集まって、十数年前に作られた同好会です。

職種も多種多様、農業あり公務員あり、年齢も40代から80代までと幅広く、写真の傾向もネイチャーあり、郷土芸能あり、風景・スナップと多彩です。

会員に共通しているのは写真が好きで、少しでも満足のいく写真を撮りたいという思いです。県の芸術祭等へも出品して、色々な人たちに見ていただきながら腕を磨いております。



鎌田 寛氏作品「アザミ」



坂下栄次郎氏作品「線光彩花」



万葉写真クラブ

- 設立 2000年2月1日
- 会員数 30名
- 活動 月1回の例会、年1回の写真展、年数回の撮影会、講習会、講演会
- 場所 奈良県橿原市

万葉写真クラブは橿原市公民館が主催の平成11年度写真入門講座を終了した者を中心に構成され、写真を通じて豊かな感性を培い、写真技術の向上を目指し、文化活動の一端にも寄与できることを目的として、佐藤眞佐司先生を顧問に迎え、平成12年2月1日に発足したクラブで、名前も万葉のふるさとにちなみ万葉写真クラブとしました。

月例会では顧問の佐藤先生による全員の作品に講評をいただいています。また、会員各自の感性のさらなる研鑽と、より多くの人々が、写真のすばらしさ、楽しさに少しでも共感していただければと思い、奈良市写真美術館において初の写真展「第一回万葉写真クラブ展」を開催いたしました。この写真展は地元奈良新聞に「個性あふれる29点・万葉写真クラブが作品展」と大きく紹介いただき、成功しましたので、今後も、毎年写真展を続けていきたいと思っています。11月に開催された橿原市美術展に作品を出展し、その後も各自が撮影に奔走しております。



カメラのキタムラでは、今後も全国の写真クラブのみなさまをご紹介していきます。掲載をご希望の方は、お近くのカメラのキタムラまでお問い合わせください。

写真集団 写楽



- 設立 1998年1月吉日
- 会員数 11名
- 活動 月1回の定例会
- 場所 愛媛県新居浜市

1枚の作品を完成させるための労力を惜しまず、何年も通い続け、幾本ものフィルムを使い果たす、そんな過程がたまらなくて、そんな写真が撮りたくて、そんな写真を見せたくて、写真集団写楽が創立されました。

得意分野は、山村の風物詩など人物が写っているスナップです。また自然環境を守る活動として、5月の源氏螢から7月のヒメ螢までの螢撮影を実行しています。昨年はカメラのキタムラ新居浜店様、愛媛新聞社様、新居浜市教育委員会様の後援を得て、新居浜市役所にて「21世紀に螢は…」と銘打っての螢写真展を開催できました。誌面をお借りしまして関係各位と写真展にご来場いただいた皆様にご挨拶を申し上げます。



沼田 学氏作品「夢路」



進藤 覚氏作品「六月の山村」



峯本俊満氏作品「なわとび」

感応する性能。 EOS 7 誕生。

カメラを構える。レンズを向ける。どうしても写真にしておきたい一瞬がある。
被写体を感じる閃きに、いままでにない鋭く応える、EOS 7 誕生。
高精度7点AFと最速視線入力との絶妙なコンビネーションによる小気味よさ。
使いやすく明快な操作系。しっかりと手になじむ高質感ボディに、
すべての高性能を高密度に一体化。いま、EOS 7が、あなたの撮影本能に感応する。



- 最速視線入力7点AF ●測距点がダイレクトに選択できる十字キーを装備 ●約4コマ/秒(動体予測・A1サーボAF時約3.5コマ)の高速連写 ●明快なスーパーインポーズや像消失時間の短い、キレイなファインダー ●測距点对応の35分割評価測光をはじめ、多彩な測光方式を搭載 ●ブラックアルマイト処理の金属外装を採用した、高質感ニューデザインボディ ●さらに静かになった、EOSならではのサイレント給送 ●ポップアップストロボ内蔵に加え、先進のE-TTL自動調光システムにも対応 ●ダイヤルおよびレバー類を中心とした直感的な操作系 ●視線入力搭載機で初めて視度調整機能を内蔵
- メーカー希望小売価格 EOS 7ボディ……………¥93,000(税別) / EF28-105mm F3.5-4.5 II USM付き……………¥138,000(税別) / EF28-90mm F4-5.6 USM付き……………¥121,000(税別) ●EOS 7に関する製品情報は、下記のインターネットまたは、FAX情報サービスをご利用ください。 ☎108-8011 東京都港区三田3-12-15東急三田ビル キヤノン販売株式会社 キヤノン株式会社・キヤノン販売株式会社

新登場 Canon EOS 7

最速視線入力7点AFをはじめ、すべての高性能がハイレスポンスへと結実。

●EOS 7に関する詳しい製品情報はURLにアクセスいただくか、次のFAX情報サービス(製品情報BOX番号28105)へ、どうぞ。
http://www.canon-sales.co.jp/7/ ●FAX情報サービス 東京 03-3455-5962 札幌 011-728-0485 秋田 018-826-0441 仙台 022-211-5730
名古屋 052-936-0758 大阪 06-4795-9011 広島 082-240-6729 高松 087-826-1621 福岡 092-411-9510

Canon

KITAMURA INFORMATION

楽しい情報満載!!カメラのキタムラ
ホームページへ今すぐアクセス!!

撮る!見る!買う!知る!
仲間ができる!

お買い物
【中古ネット販売】

旬の撮影ポイント!

Weekly Pick-up!
【最新商品情報】

写真教室

あなたの写真生活応援サイト
What's New!
kitamura.co.jp

お手持ちのカメラやレンズを、
高価下取り。
買い取り
いたします。
詳しくは、お近くのカメラのキタムラまでお問い合わせください。

キタムラホームページ
フォトGazoショップ

素敵なポストカード、
グリーティングカードを
つくりませんか?

オフィスやお部屋に
素敵なフォトを
飾りませんか?

フォト画像ダウンロード販売、フレーム付きフォト販売を始めました。
http://gazo.kitamura.co.jp にアクセスしてください。

フォトコンテスト専門マガジン
「フォトコンライフNo.4」
刊行!

カメラのキタムラが主催するフォトコンテストの入賞作品を中心に、写真に関するさまざまな情報を掲載したフォトコンテスト専門マガジン「フォトコンライフ」の第4号が12月18日に刊行されます。今号では「動物を撮る」をテーマに「第5回ペット・動物ふれあい写真コンテスト」入賞作品に増田勝正先生の選評をつけ、インタビューとともに掲載します。

A4変形版/オールカラー/148ページ
定価1,143円(税別) 発行: 双葉社

キタムラ全店で デジカメで撮ったら、カメラのキタムラへ! おまかせしません
デジカメからプリントすぐできます。

① デジカメで撮影したら ② メディアをキタムラへお持ち下さい ③ 美しいカラプリントがすぐできます

ワンポイントアドバイス
最高品質のプリントを得るには、お使いのデジタルカメラの画質(ピクセル)設定を高画質に設定してください。
低解像度や高圧縮率に設定された場合、「高画質プリント」のために必要な情報量が不足し、画質が粗くなる場合がありますのでご注意ください。

編集後記

芥川先生の特集はいかがでしたでしょうか。航空写真に独自の世界を開拓され、一方で大判カメラの設計もされている先生は、ご多忙にもかかわらずキタムラの取材に応じていただき、終始にこやかに応じていただきました。「私は航空写真で人間を撮っているのです」というお言葉で、通常は私達が体験することのできない航空写真というものが急に身近に感じられるようになりました。読者の皆様にも、そうした暖かい先生のお人柄が伝われば幸いです。

そして久々に田中長徳先生にもご登場いただきました。世界中のカメラに深い造詣のある先生に、今回は日本のカメラ史を舞台にして、再び健筆をふるっていただこうと思います。第1回目から懐かしい機種の名前が次々と飛び出していますので、オールドカメラファンには十分にお楽しみいただける連載になると思います。

保存版では写真表現に重要な意味を持つ「露出」を取り上げてみました。多少難しい内容ではありますが、それだけに一度マスターしてしまえば、写真の面白さが今以上に広がるはず。習うより慣れるで、是非チャレンジしていただきたいテーマです。

編集部では今後も様々な観点からカメラや写真の楽しさを、読者の皆様で紹介してゆく所存です。皆様のフォトライフが、より豊かなものとなりますように、キタムラはいつもそのことを願っています。

プレゼントが当たる! クロスワードパズル

1	2	3	4
A	C	イ	ン
5	ク		キ
B			F
6	ン	サ	モ
7			D
8	9	イ	ン
10			ワ
		イ	ハ
11			
12	ン	エ	マ

答え=○○○○○○○
ヒント: マサにコレが20世紀最後の音!

1 ビートルズのメンバーだった一人。最近、記念館ができましたネ。
2 麻雀は、コレがないとアガれません。
3 この言葉を辞書で引くと「同じ親から生まれた年長の女」とあります。
4 首の下に、三日月型の白斑がある動物です。
5 イカを原料とする加工食品。酒のつまみにもいいですね。
6 フィルムにとって大切なのは、○○の再現力。
7 冬場は、○○が乾燥しがちですね。

1 昨シーズンのプロ野球セ・リーグ優勝球団は?
2 何事も、あまり○○をかいてはいけません。
3 最近、カラーではない○○クロ写真が見直されていますネ。
4 賃貸住宅に入居する時は、敷金や○○○が必要ですよ。
5 ツタンカーメンの墓には「アラオの○○○」があると云われます。
6 抱き合う事を、英語でこう言います。
7 受験生の皆さん、こんな不正はいけませんヨ!

問題: クロスワードに答えて、A~Fのマスをつなぐとある言葉になります。その答えとあなたの住所・氏名・年齢・職業をハガキに書いてご応募ください。正解者の中から抽選で30名の方に、粗品を差し上げます。
あて先: 〒222-0033 横浜市港北区新横浜2-4-1 カメラのキタムラ「フォトライフ四季クロスワードパズル」係
締め切り: 2月28日(当日消印有効)

クロスワードパズル(Vol.33) 解答とご当選者 解答:「カブトムシ」
西山礼子(北海道)、細谷麻紀(宮城県)、田口正平(埼玉県)、山岡千代子(長野県)、柿谷進(富山県)、河瀬真紀(岐阜県)、深沢政幸(静岡県)、沼田次経(愛知県)、藤森千佳(愛知県)、松永達輝(愛知県)、森本徳助(三重県)、後村吉博(滋賀県)、井上明彦(京都府)、墨清志(大阪府)、屋敷展秀(大阪府)、北井賢司(奈良県)、山田秀之(鳥取県)、日野貴(鳥取県)、池上明男(岡山県)、川端智子(広島県)、豊博子(広島県)、山根瞳美(山口県)、木内美穂(徳島県)、越智良仁(愛媛県)、岡村健市(高知県)、古賀とよ子(福岡県)、奥谷充(福岡県)、牟田文子(大分県)、刀根貴範(宮崎県)、江藤公保(宮崎県) 敬称略

撮ったら、すぐカード。



21世紀インスタントカメラ誕生



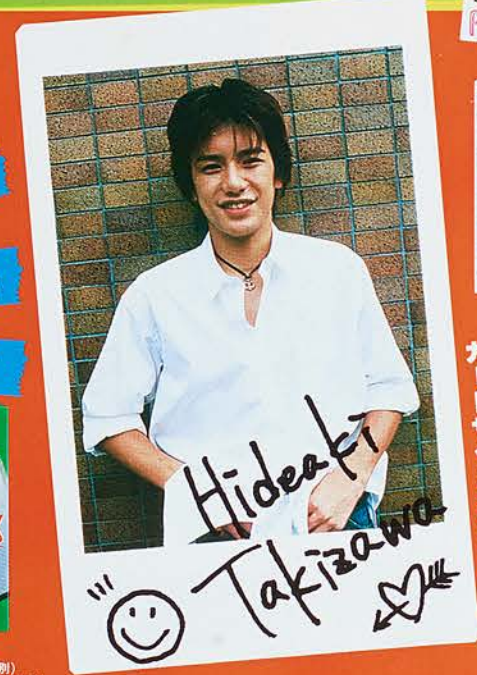
instax mini



カバンにすっぽり
コンパクトボディ

定額入りにピッタリ
カードサイズ写真

フィルムも安く
チェキ!



カードサイズ写真(原寸大)



フジフィルム インスタックス ミニ10 チェキ
メーカー希望小売価格 10,000円(税別)

インスタックスミニ フィルム
1パック/10枚撮り 700円(税別)
2パック/10枚撮り×2 1,250円(税別)

フジフイルム 四季 Vol.35 WINTER 平成12年12月11日発行 季刊35号 カメラのキタムラ発行 〒222-0033 横浜市港北区新横浜2-4-1 ☎045-476-0777